本書をよくお読みになって、製品をご利用ください。

ネットワーク設定説明書

基本編

特殊設定編

●本書およびCD-ROMは大切に保管してください。

「Printing Force FUJI XEROX ロゴマーク」が適用された商品は、富士ゼロックスおよび富士ゼロックスプリンティングシステムズのプリンター技術を活用して製造し、安心と信頼のプリント環境を提供します。

本書は、地球環境への負担軽減を目的として再資源化（リサイクル）に配慮して製本しています。製品本体の使用を終了したら、本書は回収業者などによる再資源化にご協力ください。

コンピューターウィルスに関連する被害

コンピューターウィルスに感染することによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制 (電波規制や材料規制など) は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

このたびは DocuPrint 187A をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は、ネットワーク上で本機を使用して印刷するときに必要な情報について説明しています。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

本書は、読んだあとも必ず保管してください。

本書の内容は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。

富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。
必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
また、本書の「安全にご利用いただくために」をご一読ください。

本製品は、レーザーの国際規格 IEC60825-1(Class1) に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合せて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機及び類似の機器の高調波ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

こんなときには、このマニュアルを参照してください

本機に同梱されているマニュアルと記載内容

クイックセットアップガイド 本機の設置手順、用紙のセット方法、プリンタドライバのインストール方法などを説明しています。
プリンタドライバのオンラインヘルプ プリンタドライバの項目や各機能の設定方法を説明しています。
取扱説明書 (PDF) 本機の基本的な機能の説明、トレイや用紙ごとの印刷方法、オプションの追加や本機のメンテナンスについて説明しています。 また、紙づまりの解決方法などのトラブルシューティングも記載していますので、トラブルの原因や対処方法を調べたいときにお読みください。 (このマニュアルは、CD-ROM に格納されています。)
ネットワーク設定説明書 (PDF) ネットワーク上で本機を使用して印刷するときに必要な情報について説明しています。 ネットワーク環境の基本的な説明から、プリントサーバーの設定方法、プロトコルの追加方法などについて記載しています。 (このマニュアルは、CD-ROM に格納されています。)

補足
- PDF 文書を表示するには、お使いのコンピューターに Adobe® Acrobat® Reader がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、同梱 CD-ROM を使って、まず Acrobat Reader をインストールしてください。

目　次

本書のレイアウトについて

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

本書で使われている記号について

記号について

本文中では、説明する内容によって、以下の記号を使用しています。

	本機をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。

基本編

基本編　第 1 章

プリンタをネットワークで使う前に

ネットワークの基礎

概要

ネットワークにプリンタを接続すると、複数台のコンピュータから 1 台のプリンタに印刷することが可能になります。

ネットワークにプリンタを接続して使用するには、プロトコルの選定とプリントサーバーの設定、使用する各コンピュータの設定が必要です。

- プロトコルの選定とプリントサーバーの設定
  すでにネットワークに接続されている場合は、使用している印刷用プロトコルを確認してください。なお、この場合はプリントサーバーの設定は不要です。

- プリントサーバー
  プリントサーバーとは、プリンタに組み込まれたネットワーク印刷機能を提供する部分のことです。

プロトコルについて

プロトコルとは、ネットワーク上で通信やデータの送受信などを行うための手順を定めたものです。所定のプロトコルを利用することで、ネットワークに接続されたプリンタを利用することができます。

TCP/IP

現在最も標準的に使われている通信プロトコルで、インターネットや電子メールなどで利用されています。
会社などでネットワークが組まれている場合、このプロトコルが多く使われており、大規模なネットワークに適しています。
印刷用プロトコルにも TCP/IP をベースにしたものが多く、本機では LPR、NetBIOS/IP、IPP（インターネット印刷）などが使用できます。

AppleTalk

従来から Macintosh® に標準で搭載されている通信プロトコルで、これには印刷用プロトコルも含まれます。

プロトコルの設定に必要な項目

TCP/IP 設定

下記の内容は、通常ネットワーク管理者が管理します。

- IP アドレス、サブネットマスク
- ゲートウェイ（ルータがある場合）
- ワークグループ名（NetBIOS を使用する場合）
- コンピュータ名（NetBIOS を使用する場合）

●IP アドレス

0~255 の数字を組み合わせた 4 つのブロックで構成されています。各コンピュータに重複しない IP アドレスを個別に割り当てます。

例） 192.168.1.1
小規模なネットワークでは、例えば 192.168.1.1、192.168.1.2、192.168.1.3・・・と、末尾の番号を変えて設定します。

●サブネットマスク

TCP/IP のネットワーク接続では、大規模なネットワークは通常ルータを経由して、いくつかの小規模なネットワーク (サブネット) に区切られます。このときに、IP アドレスのどこまでをネットワークを識別するためのアドレス（ネットワークアドレス）として使用するかを設定します。その範囲を決める値をサブネットマスクといいます。このネットワークアドレスの範囲外の部分が、ネットワーク内のコンピュータを識別するためのアドレス（ホストアドレス）となります。

例） ネットワーク 1、2 という 2 つの異なるネットワーク上にあるそれぞれのプリンタから印刷する場合、
•ネットワーク 1 上のプリントサーバーの IP アドレスが「192.168.1.1」
•ネットワーク 2 上のプリントサーバーの IP アドレスが「192.168.2.1」
とすると、サブネットマスクを「255.255.255.0」と設定すると、ネットワークアドレスが「192.168.1」「192.168.2」となり、異なるネットワークだと判断し、ルータを経由した通信を行います。
サブネットマスクを「255.255.0.0」と設定すると、ネットワークアドレスが両方とも「192.168」となり、同一のサブネットマスク内の通信と判断されますが、実際にはルータを経由しているため、通信できないことになります。

●ゲートウェイ（ルータ）

ネットワークとネットワークとを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを経由して送信されるデータを正確に目的の場所に届ける役目を持っています。ネットワーク内のデータの送り先が外部のネットワーク宛であれば、ルータはそのデータを外部に送り出します。

●ワークグループ名（NetBIOS を使用する場合）

これは、Windows® ネットワーク環境で提供されるグループ分けに使われる名称です。単純にグループ内でコンピュータ（プリントサーバー）を検索しやすくするために利用されます。
Windows® の NetBIOS ドメイン管理環境を使用している場合は、そのドメイン名を使用します。

●コンピュータ名（NetBIOS を使用する場合）

これは、Windows® 環境で利用される個々のコンピュータ（プリントサーバー）の名称です。インターネットなどの TCP/IP 環境で一般的に使用されるホスト名とは区別して扱われます。ただし、プリントサーバーでは、ノード名の先頭 15 文字がコンピュータ名として利用され、

ノード名＝ホスト名＝コンピュータ名（先頭 15 文字）

として扱われます。

メモ

ノード名

従来の BRAdmin Professional やプリンタ設定ページなどで表示されるプリントサーバーの名称で、デフォルトでは「BRN_xxxxxx」となっています。(「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。)

AppleTalk 設定

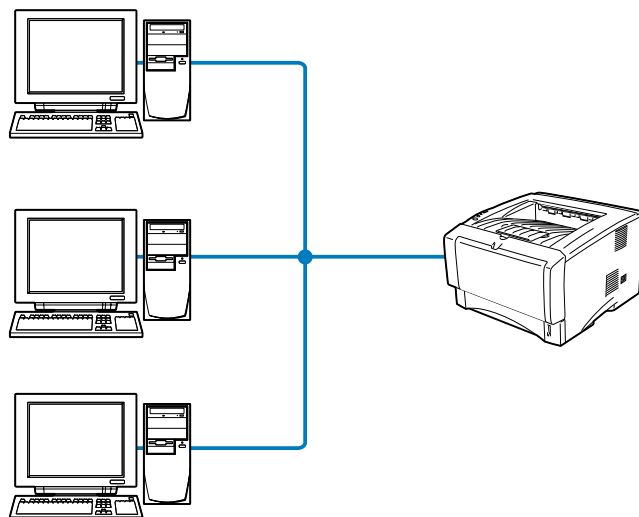
AppleTalk はプラグアンドプレイを基本としていますので、通常設定は不要です。

ネットワークの接続

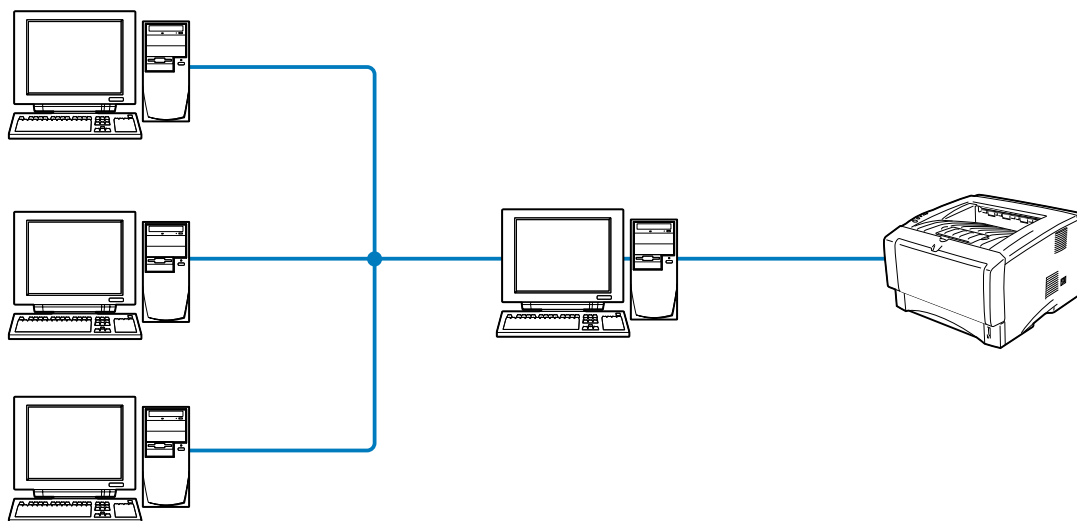
接続方法

接続方法は、各コンピュータから直接プリンタと通信して印刷する方法（ピアツーピア）と、プリンタに接続されているコンピュータを経由して印刷する方法（ネットワーク共有）があります。

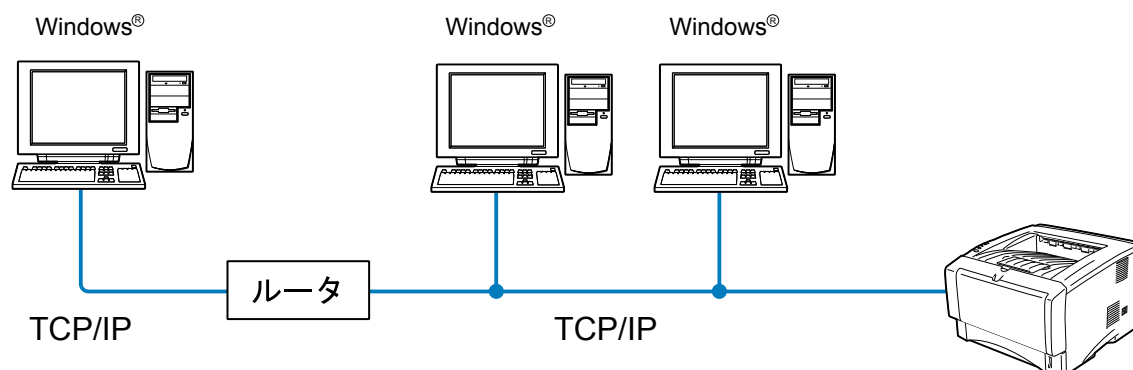
ピアツーピア接続

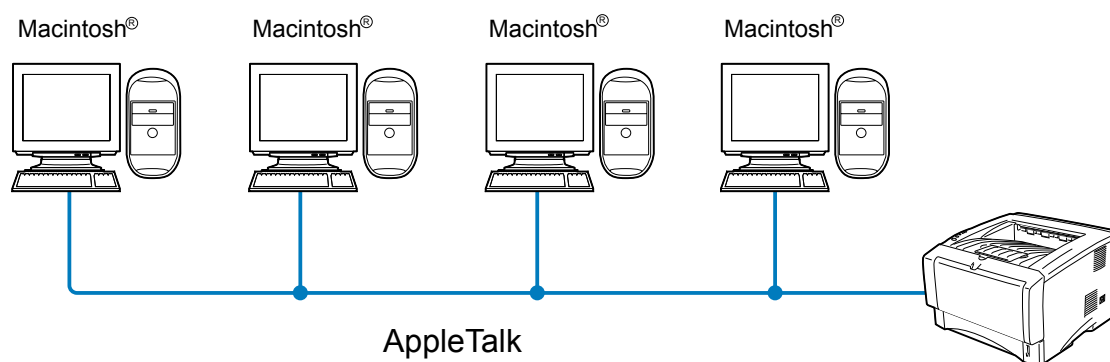
各コンピュータにプリンタポートの設定をします。

メモ　本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。

ネットワーク共有

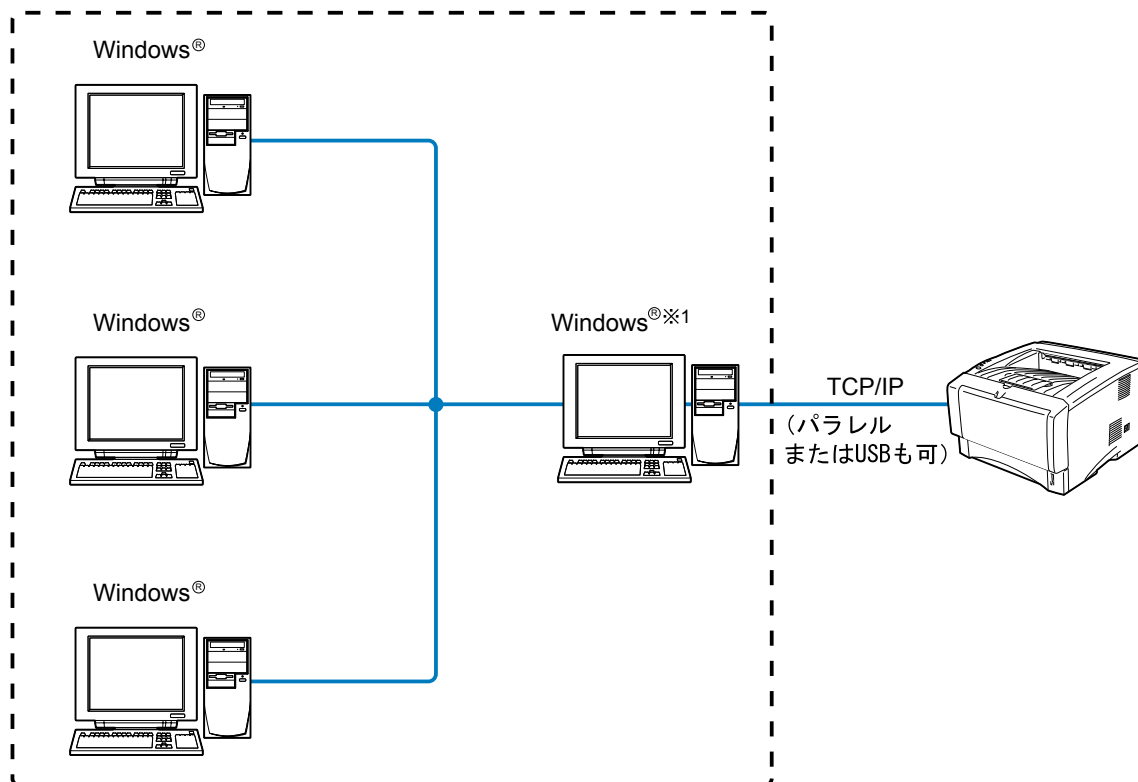
プリンタに直接接続されているコンピュータのみプリンタポートを設定し、そのコンピュータを経由して他のコンピュータもプリンタを共有できます。ただし、プリンタに接続されているコンピュータの電源が入っていないと、他のコンピュータはプリンタを使用できません。

メモ　ネットワーク共有の設定方法については、Windows® オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

接続例

接続例 1：ピアツーピア（TCP/IP）

- 各コンピュータに TCP/IP と印刷プロトコルの設定を行います。
- プリンタにも IP アドレスを設定する必要があります。
- すでに TCP/IP でネットワークを構築している場合は、この設定をお勧めします。
- ルータがある場合、ルータの先からも利用可能です。（ゲートウェイの設定が必要）
- Macintosh®（TCP/IP 対応 OS）※からも使用可能です。

接続例 2：ピアツーピア（AppleTalk）

- Macintosh® のみ使用可能です。

第1章
基礎
第2章
Windows
第3章
Macintosh
第4章
インターネット
第5章
ブラウザ

接続例 3：ネットワーク共有

ネットワーク共有

- プリンタと直接接続するコンピュータ（※ 1）には、TCP/IP と印刷プロトコル設定が必要です。
- プリンタと直接接続するコンピュータ（※ 1）の電源が入っていなければ、プリンタを使用できません。
- Windows® のみ設定可能です。

メモ　ネットワーク共有の設定方法については、Windows® オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

基本編　第 2 章

Windows® 環境で TCP/IP ピアツーピア印刷する

LPR（Standard TCP/IP）で印刷する

概要

Windows® 2000/XP、Windows NT® の場合は、TCP/IP プロトコルを使用して、ネットワーク対応プリンタへ直接印刷することができます。
ネットワークサーバーなどは経由せずに印刷します。

●条件

- コンピュータが TCP/IP プロトコルによるネットワークを使用していること
- コンピュータに LAN ボードが装備され、TCP/IP プロトコルがインストールされていること

●設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. プリントサーバーの IP アドレスを決定します。（ネットワーク管理者にお問い合わせください。）
3. プリントサーバーの IP アドレスなどを設定します。P.2-3
4. コンピュータにプリンタの関連付けをします。P.2-5

Windows® 2000/XP の場合
標準で TCP/IP プロトコルがインストールされています。

Windows NT® 4.0 の場合
Windows NT® 4.0 に TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順で TCP/IP プロトコルをインストールしてください。
[スタート] メニューから [設定] － [コントロールパネル] の順にクリックし、[ネットワーク] をダブルクリックします。P.2-10

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

プリントサーバーの設定

TCP/IP を使用して印刷するには、プリントサーバーに IP アドレスを設定する必要があります。使用するコンピュータと同じネットワーク上にプリントサーバーが接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータ越しに接続されている場合は、さらにルータ（ゲートウェイ）のアドレスも設定します。

プリントサーバーは各種の IP アドレス自動設定機能に対応しており、DHCP/BOOT/RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用した環境では、起動時にそれらのサーバーから自動的にアドレスが割り当てられます。
これらの IP アドレス配布サーバーのない環境では、APIPA（AutoIP）機能によってプリントサーバー自身でアドレスを割り当てます。
ただし、APIPA では、使用しているネットワークの IP アドレス設定規則に適さない場合があります。そのような場合や、APIPA 機能を無効にしている場合は、以下の説明にしたがって、IP アドレスを設定してください。APIPA（AutoIP）や IP アドレス設定に関する詳細は、P.6-2 を参照してください。

メモ

- IP アドレス自動設定機能が無効の場合は、工場出荷時のデフォルトは、次の通りです。
  - ・IP アドレス：192.0.0.192
  - ・ドメイン名：WORKGROUP
  - ・パスワード：access
- プリンタ設定ページを印刷して、現在の設定値を調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

BRAdmin Professional を使用してプリントサーバーを設定する

BRAdmin Professional を使用して、IP アドレスの変更ができます。

プリンタをネットワークに接続し、ネットワーク上に接続されたコンピュータから BRAdmin Professional を起動します。

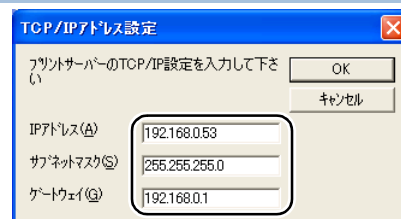
メインウィンドウの左側のフレームで、［フィルタ］の［TCP/IP］を選択します。

プリントサーバーがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により正常に設定された場合には、メインウィンドウの右側のフレームにプリントサーバーが表示されます。

3 ［デバイス］メニューの［稼働中のデバイスの検索］をクリックします。
プリントサーバーの設定が工場出荷時のままの場合は、未設定デバイスとして、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）が表示されます。

4 IP アドレスを設定したい未設定デバイスをダブルクリックします。

プリンタ設定ページを印刷して、ノード名やイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

5 プリントサーバーの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ（必要な場合）を入力します。
例）IP アドレス：192.168.1.45
　　サブネットマスク：255.255.255.0
　　ゲートウェイ：192.168.0.1

6 ［OK］をクリックします。

7 ［閉じる］をクリックします。

8 IP アドレスを正しく設定すると、デバイスリストにプリントサーバー名およびプリンタ名が表示されます。

9 BRAdmin Professional を使用して、プリントサーバーをリスタートします。
リスタートの方法が分からない場合はプリンタの電源を切り、その後電源を入れ直してください。

IP アドレスを変更する他の方法

- HTTP（ウェブブラウザ）を使用する場合は、「ウェブブラウザで管理する」P.5-1を参照してください。
- その他の IP アドレスの設定方法は、「プリントサーバー設定」P.6-1を参照してください。

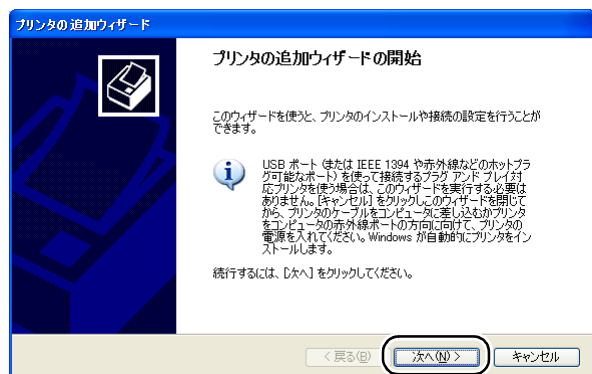
コンピュータの設定（Windows® 2000/XP）

TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバ未インストール）

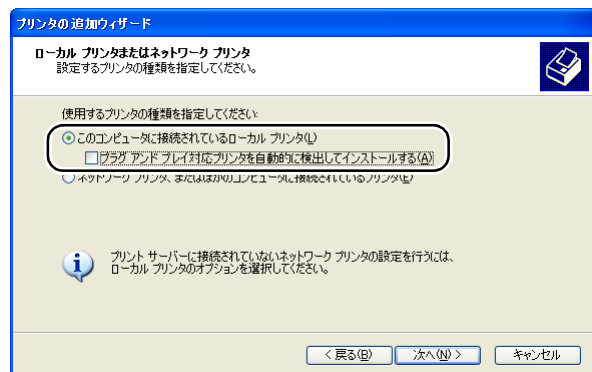
TCP/IP ポートを追加し、プリンタドライバをインストールしてプリンタの関連付けをします。
すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、「TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバインストール済）」P.2-9 を参照してください。
Windows® 2000/XP では、ネットワークに必要なソフトウェアは、すべて標準でインストールされています。

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタのインストール］をクリックします。

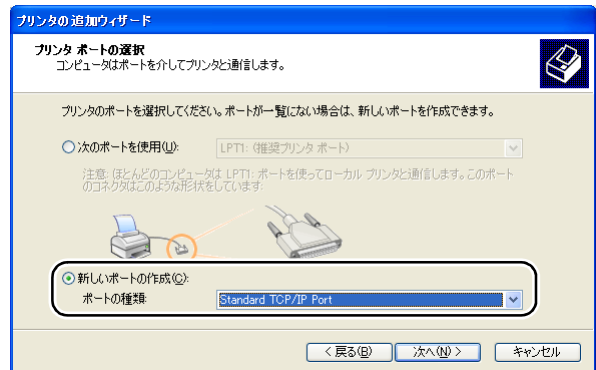
● Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

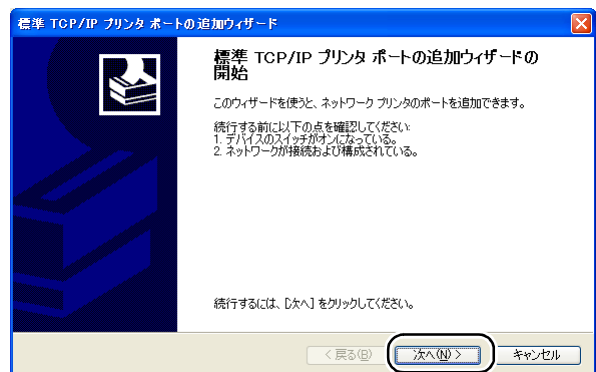
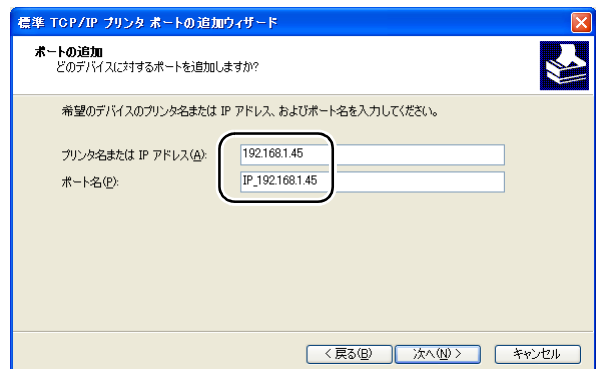
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

［次へ］をクリックします。

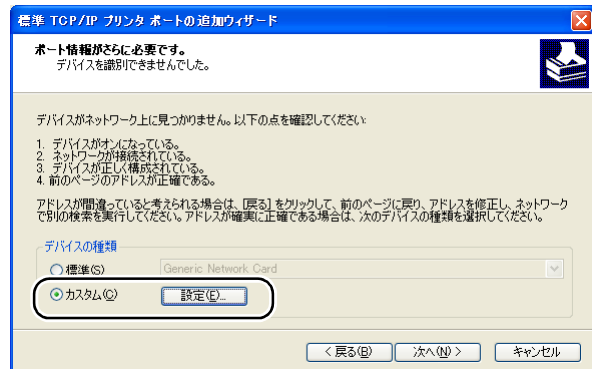
［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。

● Windows® 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。

［次へ］をクリックします。

第1章
基礎
第2章
Windows
第3章
Macintosh
第4章
インターネット
第5章
ブラウザ

5 ［新しいポートの作成］をクリックし、［Standard TCP/IP Port］を選択します。

6 ［次へ］をクリックします。
［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されます。

7 ［次へ］をクリックします。

8 設定するプリンタの［プリンタ名または IP アドレス］を入力します。
［ポート名］はウィザードによって自動的に入力されます。
例） 192.168.1.45

9 ［次へ］をクリックします。
Windows® 2000/XP から指定したプリンタへ接続されます。
指定したアドレスまたはプリンタ名を誤って入力すると、エラーメッセージが表示されます。

10 ［カスタム］を選択し、［設定］をクリックします。

11 TCP/IP ポートを以下のように設定し、［OK］をクリックします。

① プロトコル：LPR

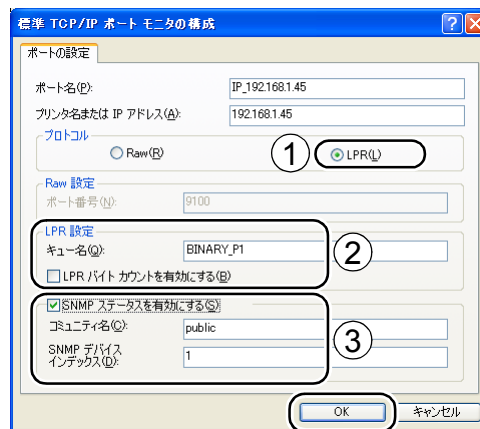
② LPR 設定

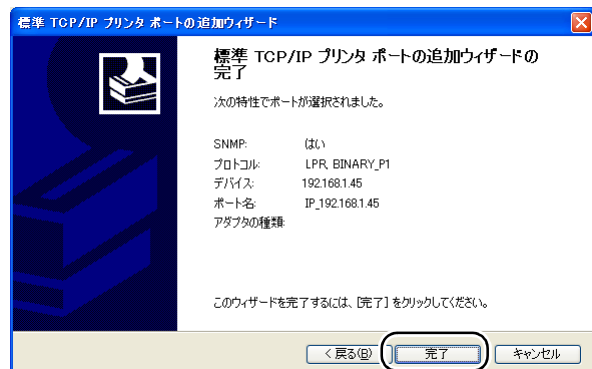
キュー名：BINARY_P1

LPR バイトカウントを有効にする：チェックマークなし

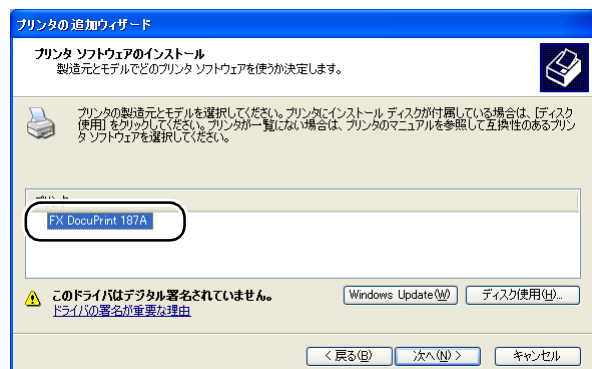
③ SNMP ステータスを有効にする：チェックマークあり

コミュニティ名：public

SNMP デバイスインデックス：1

12 ［完了］をクリックします。

［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］を終了し、［プリンタの追加ウィザード］に戻ります。

13 使用するプリンタドライバを指定します。

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。

プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

14 ［次へ］をクリックします。

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

15 必要に応じて、［プリンタ名］を変更します。
例） FX DocuPrint 187A

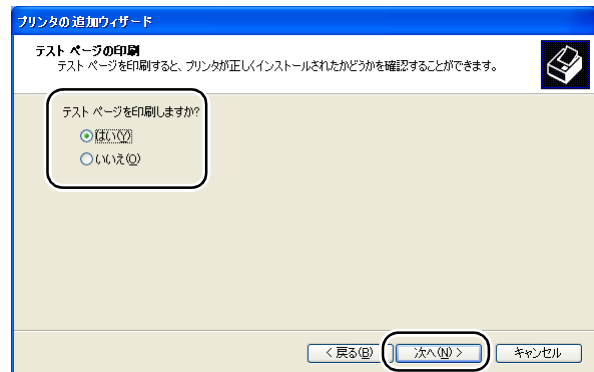
16 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常使うプリンタとして使うかどうかを選択して、［次へ］をクリックします。

17 このプリンタを共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力して、［次へ］をクリックします。

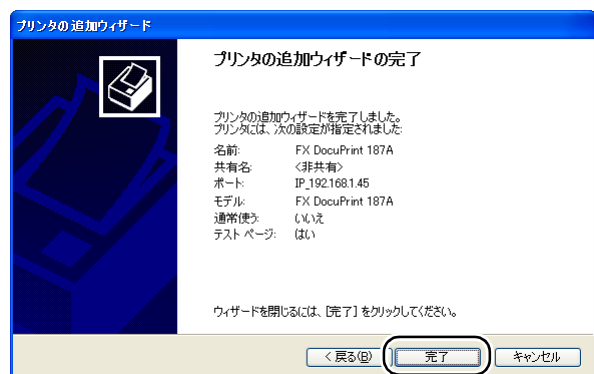
共有した場合は、必要に応じて［場所］と［コメント］を入力して、［次へ］をクリックします。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

18 テスト印刷をするかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるかテスト印刷を行ってください。

19 ［完了］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。

メモ

TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバインストール済）

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、次の手順で TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付けをします。

① ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリック（Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリック）し、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。
［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されます。
⑤ 「TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバ未インストール）」の手順 7 〜 10 P.2-6 を実行します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

コンピュータの設定（Windows NT®4.0）

TCP/IP プロトコルの追加

TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。すでに TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、「TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバ未インストール）」P.2-11へ進みます。

1. ［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］をクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックします。
   ［ネットワーク］が表示されます。
2. ［プロトコル］タブをクリックし、［追加］をクリックします。
3. ［TCP/IP プロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。
4. Windows NT® セットアップ用の CD-ROM を挿入し、［続行］をクリックします。
   - お使いのコンピュータが Windows NT® プリインストールモデルの場合は、[ディスクを使用] をクリックし、コンピュータに付属のリカバリィ CD-ROM の ¥i386 を指定してください。

   必要なデータがコピーされ、［プロトコル］タブに［TCP/IP プロトコル］が追加されます。
5. ［サービス］タブをクリックし、［追加］をクリックします。
6. ［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択し、［OK］をクリックします。
7. Windows NT® セットアップ用の CD-ROM を挿入し、［続行］をクリックします。
   - お使いのコンピュータが Windows NT® プリインストールモデルの場合は、[ディスクを使用] をクリックし、コンピュータに付属のリカバリィ CD-ROM の ¥i386 を指定してください。

   必要なデータがコピーされ、［サービス］タブに［Microsoft TCP/IP 印刷］が追加されます。
8. ［プロトコル］タブをクリックします。
9. ［TCP/IP プロトコル］を選択し、［プロパティ］をクリックします。
10. ホスト IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ アドレスを設定し、［OK］をクリックします。
    入力する情報が分からない場合は、システム管理者にお問い合わせください。
11. ［OK］をクリックします。
    再起動を促すメッセージが表示されます。
12. ［はい］をクリックします。
    コンピュータが再起動されます。
    これで、TCP/IP プロトコルは追加されました。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバ未インストール）

TCP/IP ポートを追加し、プリンタドライバをインストールしてプリンタの関連付けをします。
すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、「TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバインストール済）」P.2-14を参照してください。

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックします。

［ネットワークプリンタサーバー］を選択しないように注意してください。

［ポートの追加］をクリックします。

［利用可能なプリンタポート］のリストから［LPR Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

前述の［Microsoft TCP/IP 印刷プロトコル］をインストールしていない場合は、［LPR Port］は表示されません。

[lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス :］ボックスに、このプリントサーバーの IP アドレスを入力します。
例）192.168.1.45

hosts ファイルを編集した場合やドメインネームサービスを使用している場合は、IP アドレスではなく、プリントサーバーに割り当てた名前を入力します。また、このプリントサーバーは、NetBIOS 名をサポートしているため、プリントサーバーの NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名はプリンタ設定ページに表示されます。
デフォルトの NetBIOS 名は「BRN_xxxxxx」で、「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

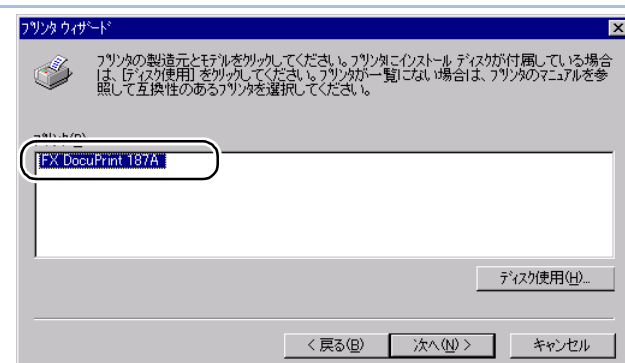
6 ［サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名 :］ボックスに、プリントサーバーサービス名を入力します。

- サービス名が分からない場合は、BINARY_P1 と入力してください。
- サービス名の詳細は、「サービスの使用」P.10-3 を参照してください。

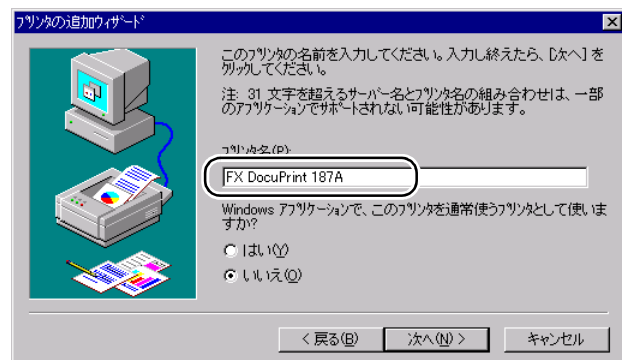
7 ［OK］をクリックします。

8 ［閉じる］をクリックします。
［利用可能なプリンタポート］のリストに、プリントサーバーの IP アドレスが反転表示されます。

9 ［次へ］をクリックします。

10 使用するプリンタドライバを指定します。
［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

11 ［次へ］をクリックします。

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

12 必要に応じて、［プリンタ名］を変更します。
例）FX DocuPrint 187A

13 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

14 このプリンタを共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力します。印刷に使うコンピュータのオペレーティングシステムを選択し、［次へ］をクリックします。

15 テスト印刷をするかどうかを選択し、［完了］をクリックします。
- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。

TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバインストール済）

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、次の手順で TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付けをします。

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④「TCP/IP ポートの追加とプリンタの関連付け（プリンタドライバ未インストール）」の手順 4 ～ 8 P.2-11 を実行します。

LPR（BLP）で印刷する

概要

Windows® 95/98/Me の場合は、TCP/IP プロトコル上の FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）プロトコルを使用して、弊社のネットワーク対応プリンタへピアツーピアで直接印刷することができます。

条件

- コンピュータが TCP/IP プロトコルによるネットワークを使用していること
- LAN ボードが装備され、TCP/IP プロトコルがインストールされていること

設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. プリントサーバーの IP アドレスを決定します。（ネットワーク管理者にお問い合わせください。）
3. プリントサーバーの IP アドレスなどを設定します。P.2-15
4. コンピュータに FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールします。P.2-17
5. コンピュータにプリンタの関連付けをします。P.2-20

メモ

Windows® 95/98/Me に TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順で TCP/IP プロトコルをインストールしてください。
［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックします。P.2-16

プリントサーバーの設定

TCP/IP を使用して印刷するには、プリントサーバーに TCP/IP の IP アドレスを設定する必要があります。
詳細は、「BRAdmin Professional を使用してプリントサーバーを設定する」P.2-3を参照してください。

コンピュータの設定（Windows® 95/98/Me）

TCP/IP プロトコルの追加

TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。すでに TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、「**FUJI XEROX** ピアツーピア印刷（**LPR**）ソフトウェアのインストール」P.2-17へ進みます。

1. [スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[ネットワーク] をダブルクリックします。
   [ネットワーク] が表示されます。

2. [ネットワークの設定] タブで、[追加] をクリックします。

3. [プロトコル] を選択し、[追加] をクリックします。

4. [製造元] で [Microsoft] を選択し、[ネットワークプロトコル] で [TCP/IP] をクリックします。

5. [OK] をクリックします。
   [現在のネットワークコンポーネント] に [TCP/IP] が追加されます。

   メモ
   必要なファイルをコピーするためディスクを挿入する指示が表示された場合は、指示にしたがってフロッピーディスクまたは CD-ROM を挿入してください。

6. [現在のネットワークコンポーネント] の [TCP/IP] を選択し、[プロパティ] をクリックします。

7. IP アドレスなどの必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。
   入力する情報が分からない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

8. [OK] をクリックします。
   再起動を促すメッセージが表示されます。

9. [はい] をクリックします。
   コンピュータが再起動されます。

これで、TCP/IP プロトコルは追加されました。

FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール

FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールします。

CD-ROM のインストールメニュープログラムを実行します。

● 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックして画面を表示させてください。

レーザープリンタユーティリティが起動します。

［ソフトウェアのインストール］を選択します。

3 ［ネットワークプリントソフトウェア］をクリックします。

FUJI XEROX ネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

4 ［次へ］をクリックします。

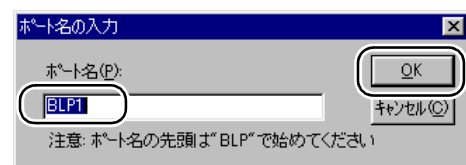
5 製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、［はい］をクリックします。

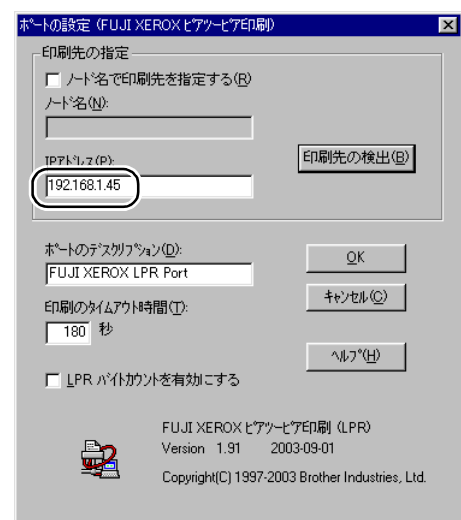
6 ［FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR)］をクリックします。

7 ファイルをインストールするフォルダを入力し、［次へ］をクリックします。

- デフォルトのフォルダから変更する場合は、インストールするフォルダを入力します。
- フォルダが存在しない場合は、新しくフォルダが作成されます。

8 使用するポート名を入力し、［OK］をクリックします。

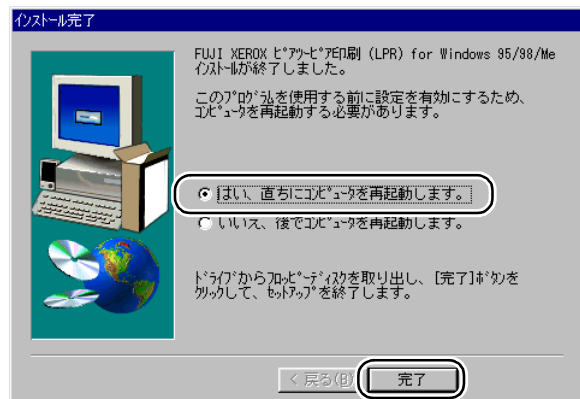
デフォルトのポート名は「BLP1」です。別のポート名を使用する場合は、必ず「BLPx」（x は任意の数字）にしてください。

9 ［IP アドレス］に、印刷したいプリンタの IP アドレスを入力します。

例）192.168.1.45

- hosts ファイルを編集した場合や、ドメインネームサービスを使用している場合は、IP アドレスではなく、プリントサーバーに割り当てた名前を入力します。また、このプリントサーバーは、NetBIOS 名をサポートしているため、プリントサーバーの NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名はプリンタ設定ページに表示されます。
  デフォルトの NetBIOS 名は「BRN_xxxxxx」で、「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。
- Windows® 95/98/Me の hosts ファイルは、Windows ディレクトリに保存されています。
- Windows® の hosts ファイルのデフォルト名は「hosts.sam」です。このファイルを使用する場合は、ファイル名から拡張子を削除してください。この拡張子“.sam”はサンプルであることを示すものです。

10 ［OK］をクリックします。

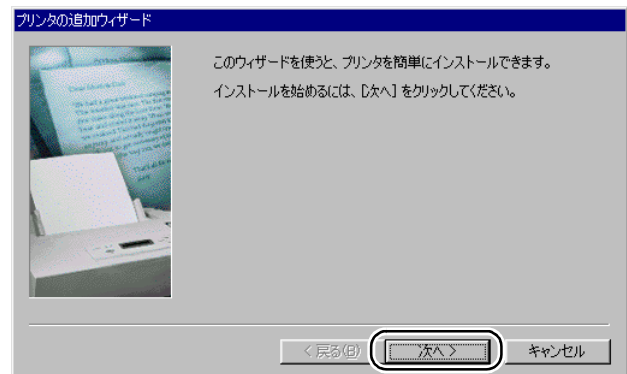
11 ［はい、直ちにコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックします。
コンピュータが再起動されます。

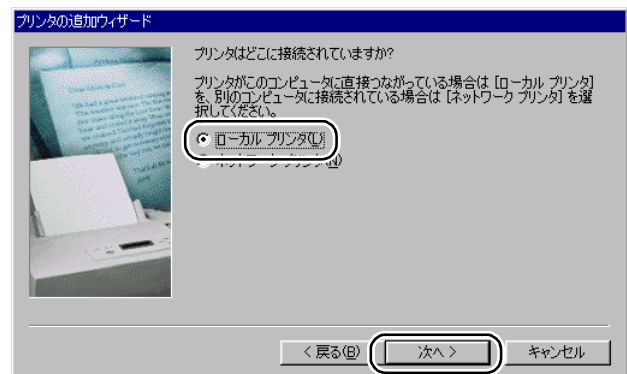
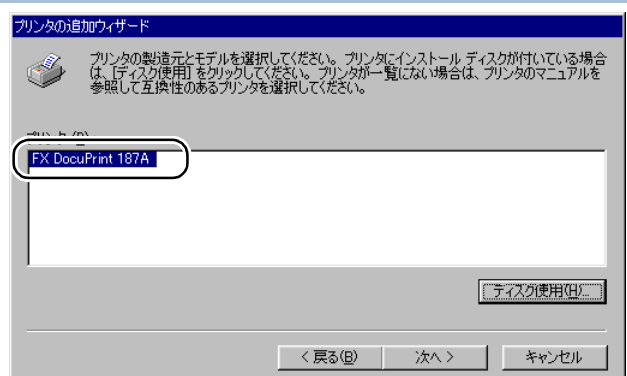
これで、FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストールは完了しました。

「プリンタの関連付け」P.2-20へ進みます。

第1章
基礎
第2章
Windows
第3章
Macintosh
第4章
インターネット
第5章
ブラウザ

プリンタの関連付け

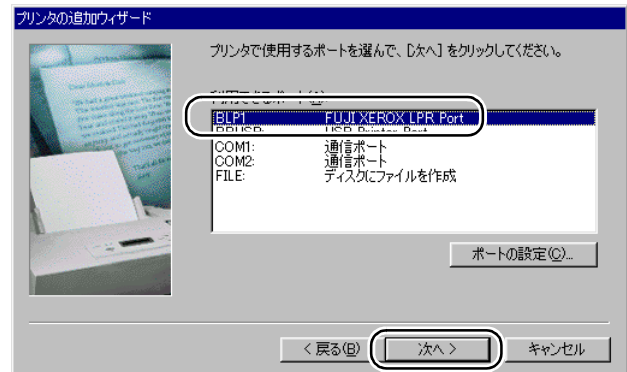
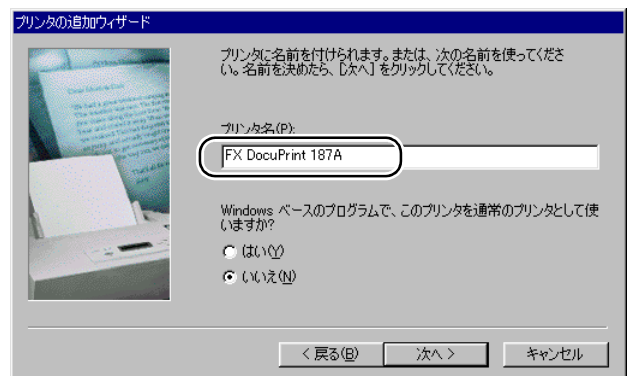
作成した FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ポートに、プリンタの関連付けをします。

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

［次へ］をクリックします。

3 ［ローカルプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。

使用するプリンタドライバを指定します。
［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

［次へ］をクリックします。

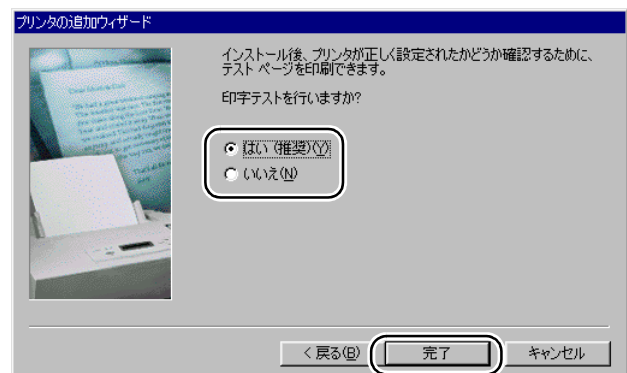
すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

6 「FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポートを選択し、［次へ］をクリックします。
例）BLP1

7 必要に応じて［プリンタ名］を変更します。
例）FX DocuPrint 187A

8 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。
テスト印刷をするかどうかの確認メッセージが表示されます。

9 テスト印刷をするかどうかを選択し、［完了］をクリックします。

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ポートの追加

FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ポートを追加するときは、FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① [スタート] メニューから [設定] ー [プリンタ] の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。

② [ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

③ [詳細] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。

④ [ポートの追加] の [その他] をクリックし、[FUJI XEROX LPR Port] を選択します。

⑤ [OK] をクリックします。
[ポート名の入力] が表示されます。

⑥「FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール」の手順 9 〜 11 P.2-18 を実行します。

NetBIOS で印刷する

概要

プリントサーバーは、TCP/IP ベースの NetBIOS プロトコルを使用した印刷をサポートしています。NetBIOS に対応した弊社のネットワーク対応プリンタは、「ネットワークコンピュータ」として、通常の Windows® コンピュータと同じように表示され、ネットワークプリンタとして使用されます。

条件

- コンピュータが TCP/IP プロトコルによるネットワークを使用していること
- LAN ボードが装備され、TCP/IP プロトコルがインストールされていること

設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. プリントサーバーの IP アドレス、ドメイン名を決定します。
（ネットワーク管理者にお問い合わせください。）
3. プリントサーバーの IP アドレス、ドメイン名などを設定します。P.2-24
4. コンピュータに FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアをインストールします。P.2-25
5. コンピュータにプリンタの関連付けをします。P.2-28

Windows® 2000/XP の場合
標準で TCP/IP プロトコルがインストールされています。

Windows NT® 4.0 の場合
Windows NT® 4.0 に TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順で TCP/IP プロトコルをインストールしてください。
［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックします。P.2-10

Windows® 95/98/Me の場合
Windows® 95/98/Me に TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順で TCP/IP プロトコルをインストールしてください。
［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックします。P.2-16

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

プリントサーバーの設定

NetBIOS ピアツーピアで印刷するには、プリントサーバーに TCP/IP の IP アドレスを設定し、ドメイン名（ワークグループ名）をご使用のネットワーク環境に合わせた名称に変更します。
詳細は、「BRAdmin Professional を使用してプリントサーバーを設定する」P.2-3を参照してください。

ドメイン名について

ドメイン名（ワークグループ名）をご使用のネットワーク環境に合わせた名称に設定すると、プリントサーバーがそのドメイン（ワークグループ）の中の「ネットワークコンピュータ」として認識され、ネットワークプリンタとしてインストールすることができます。
この機能を使用するために特別なソフトウェアをインストールする必要はありません。
ただし、Windows® 95/98/Me/2000/XP および Windows® NT4.0 で複数のコンピュータから同時に印刷しようとすると、「プリンタが利用できません」のエラーメッセージが表示されることがあります。「FUJI XEROX ピアツーピア印刷 (NetBIOS) ポートモニタ」ソフトウェアを使用すれば、使用中、電源が入っていない、用紙切れなどの場合にも、印刷ジョブのスプールを続行することができます。プリンタが利用できるようになるまで、ポートモニタによって、印刷ジョブがコンピュータ上に保留され、エラーメッセージは表示されません。

Windows® 95/98/Me の場合、デフォルトのワークグループ名は、WORKGROUP になっていますが、任意の名前に変更することができます。
Windows NT® の場合は、ドメインというネットワークのまとまりで集中セキュリティ管理され、ワークグループで分散セキュリティ管理されています。
プリントサーバーでは、ネットワークの構成がワークグループでもドメインでも問題はありません。デフォルトのドメイン名（ワークグループ名）は「WORKGROUP」です。使用するコンピュータが別の名称の場合は、プリントサーバーも同じ名称に設定してください。

ドメイン名（ワークグループ名）の設定には、次の方法があります。

- BRAdmin Professional を使用する。P.6-4
  TCP/IP または IPX/SPX で動作します。（Netware ファイルサーバーは不要です。）
- ウェブブラウザを使用する。P.6-8
  プリントサーバーとコンピュータが TCP/IP で通信できることが必要です。
- TELNET を使用する。P.6-8
  プリントサーバーとコンピュータが TCP/IP で通信できることが必要です。
- DOS 用 BRCONFIG を使用する。P.6-8
  Netware ファイルサーバーと IPX プロトコルが必要です。

メモ

プリントサーバーが「ネットワークコンピュータ」（Windows® 2000/XP/Me の場合は「マイネットワーク」）に表示されるまでに数分かかる場合があります。また、プリンタの電源を切った場合も、プリントサーバーが「ネットワークコンピュータ」（Windows® 2000/XP/Me の場合は「マイネットワーク」）から削除されるまでに、数分かかる場合があります。これは Microsoft のワークグループまたはドメインをベースにしたネットワークの仕様であり、トラブルではありません。

コンピュータの設定

TCP/IP プロトコルの追加

TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。

- Windows® 2000/XP の場合（標準でインストールされています）
- Windows NT® 4.0 の場合P.2-10
- Windows® 95/98/Me の場合P.2-16

すでに TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、次の「**FUJI XEROX** ピアツーピア印刷（**NetBIOS**）ソフトウェアのインストール」へ進みます。

FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール

FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアをインストールします。

CD-ROM のインストールメニュープログラムを実行します。

● 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックして画面を表示させてください。

レーザープリンタユーティリティが起動します。

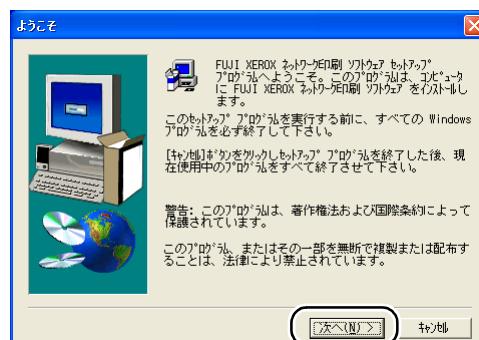
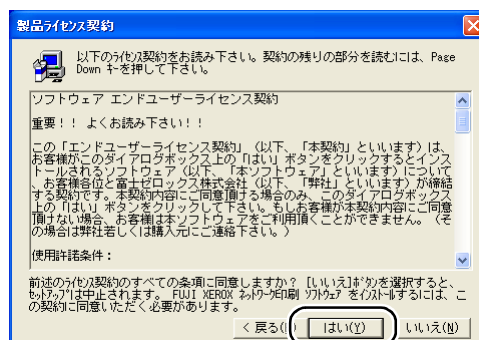
［ソフトウェアのインストール］を選択します。

［ネットワークプリントソフトウェア］をクリックします。

FUJI XEROX ネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

［次へ］をクリックします。

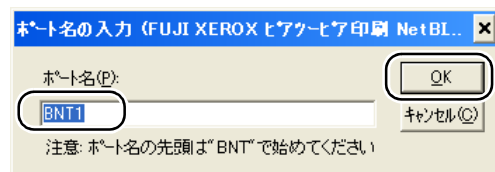
製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、［はい］をクリックします。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

[FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）] をクリックします。

ファイルをインストールするフォルダを入力し、[次へ] をクリックします。

- デフォルトのフォルダから変更する場合は、[参照] をクリックしてフォルダを指定します。
- フォルダが存在しない場合は、新しくフォルダが作成されます。

8 使用するポート名を入力し、[OK] をクリックします。

デフォルトのポート名は「BNT1」です。別のポート名を使用する場合は、必ず「BNTx」（x は任意の数字）にしてください。

9 [印刷先の検出] をクリックします。

プリントサーバーを検索します。

表示されたドメイン（ワークグループ）から印刷に使用するプリンタとポートを選択してください。

プリンタが表示されなかった場合は、プリンタのドメイン名（ワークグループ名）が正しく設定されているか確認してください。

メモ

印刷に使用するプリンタがまだネットワークに接続されていない場合には、[印刷先] を直接入力します。

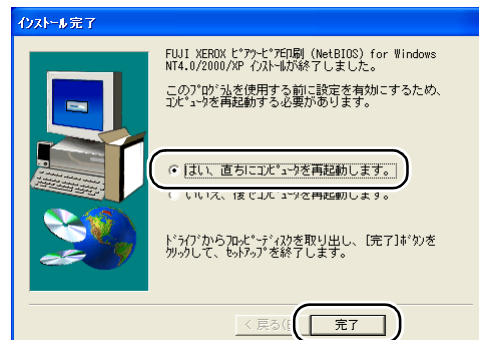
[印刷先] は、\\NodeName\ServiceName などのように、UNC（Universal Name Convention）に準拠している必要があります。

- NodeName はプリントサーバーの NetBIOS 名で、デフォルト名は「BRN_xxxxxx」（「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁）です。
- ServiceName はこのプリントサーバーの NetBIOS のサービス名で、デフォルトでは「BINARY_P1」です。

例）\\BRN_35CAF7\BINARY_P1

10 [OK] をクリックします。

11 [はい、直ちにコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックします。
コンピュータが再起動されます。

これで、FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストールは完了しました。

- Windows® 95/98/Me の場合は、「プリンタの関連付け（Windows® 95/98/Me）」P.2-28へ進みます。
- Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0 の場合は、「プリンタの関連付け（Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0）」P.2-31へ進みます。

プリンタの関連付け（Windows® 95/98/Me）

作成した FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートに、プリンタの関連付けをします。

1 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 ［次へ］をクリックします。

3 ［ローカルプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。

4 使用するプリンタドライバを指定します。

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

5 ［次へ］をクリックします。

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

6 「FUJI XEROX ピアツーピア印刷(NetBIOS)ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポートを選択し、[次へ] をクリックします。
例)BNT1

7 必要に応じて[プリンタ名]を変更します。
例)FX DocuPrint 187A

8 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。
テスト印刷をするかどうかの確認メッセージが表示されます。

9 テスト印刷をするかどうかを選択し、[完了] をクリックします。
- [はい] を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- [いいえ] を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。

FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートの追加

FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートを追加するときは、FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［詳細］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［ポートの追加］の［その他］をクリックし、［FUJI XEROX NetBIOS Port］を選択します。
⑤ ［OK］をクリックします。
［ポート名の入力］が表示されます。
⑥「FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール」の手順 9 ～ 12 P.2-18 を実行します。

プリンタの関連付け（Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0）

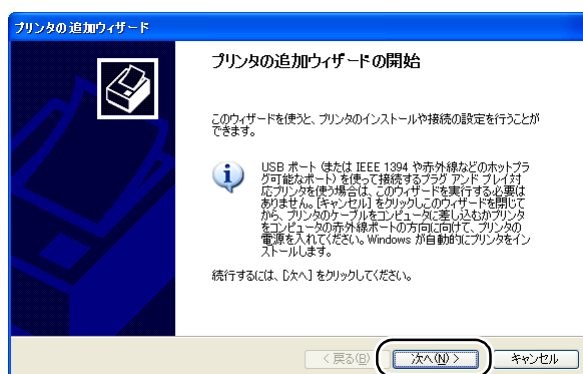
作成した FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートに、プリンタの関連付けをします。

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタのインストール］をクリックします。

- Windows® 2000、Windows NT® 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

- Windows NT® 4.0 の場合は、手順 3 へ進みます。

［次へ］をクリックします。

3

［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。

- Windows® 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。
- Windows NT® 4.0 の場合は、［このコンピュータ］を選択します。

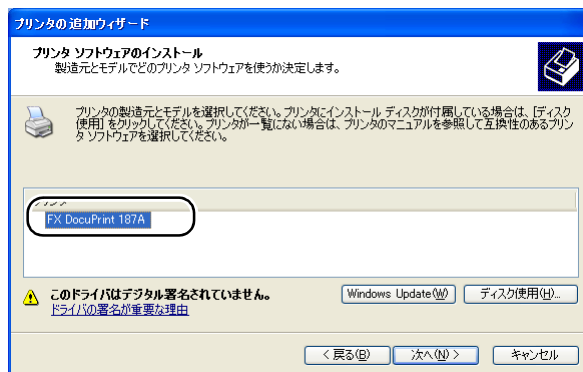
［次へ］をクリックします。

［次のポートを使用］をクリックし、「FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポートを選択します。

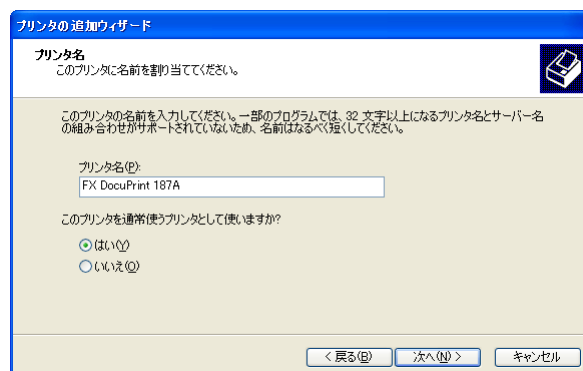
例）BNT1

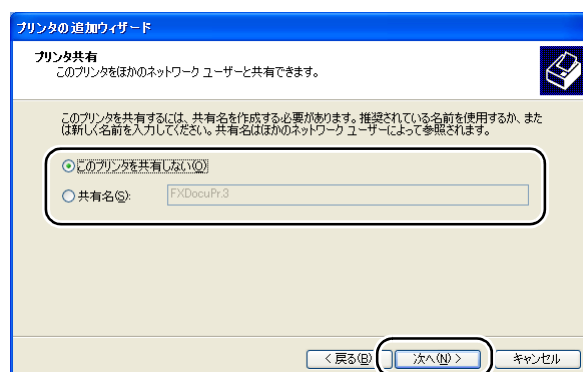
第1章
基礎
第2章
Windows
第3章
Macintosh
第4章
インターネット
第5章
ブラウザ

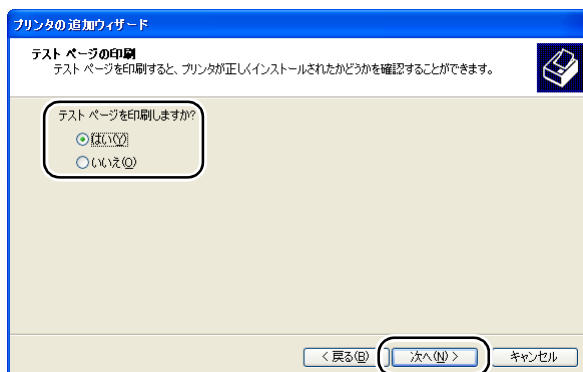
6 ［次へ］をクリックします。

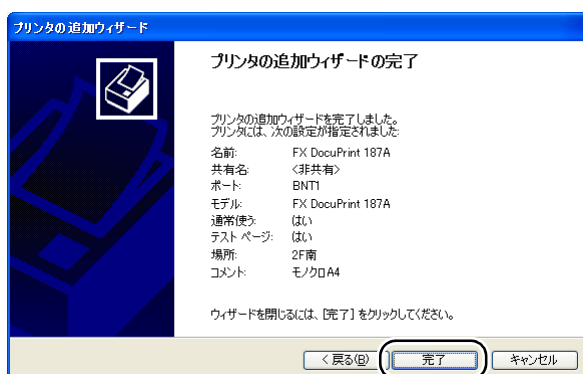
7 使用するプリンタドライバを指定します。
［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

8 ［次へ］をクリックします。

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

9 必要に応じて、［プリンタ名］を変更します。
例）FX DocuPrint 187A

10 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

11 このプリンタを共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力して、［次へ］をクリックします。

テスト印刷をするかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるかテスト印刷を行ってください。

13 ［完了］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。

FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートの追加

FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ポートを追加するときは、FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリック（Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリック）し、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［FUJI XEROX NetBIOS Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。
［ポート名の入力］が表示されます。
⑥ 「FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアのインストール」の手順 9 ～ 12 P.2-18 を実行します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

基本編　第 3 章

Macintosh® 環境でネットワーク印刷する

プリントサーバーは、イーサネット上の AppleTalk（EtherTalk）プロトコルをサポートしています。AppleTalk（EtherTalk）プロトコルを使用している Macintosh® コンピュータから印刷することができます。
また、Mac OS® 8.6 以降では、TCP/IP 印刷機能が標準サポートされています。この場合は Macintosh® から TCP/IP プロトコルを使用して印刷することができます。

●設定の流れ

AppleTalk の場合

1. AppleTalk（EtherTalk）プロトコルによってコンピュータがネットワークに接続されており、プリントサーバーも同じネットワークに接続されていることを確認します。
2. AppleTalk では、特にプリントサーバーの設定をする必要はありません。

3.Macintosh® にプリンタドライバをインストールします。
- Mac OS® 8.6~9.2 P.3-3
- Mac OS® X 10.1~10.2 P.3-9

4. プリンタドライバを選択します。
- Mac OS® 8.6~9.2 P.3-5
- Mac OS® X 10.1~10.2 P.3-13

TCP/IP の場合

1. TCP/IP プロトコルによってコンピュータがネットワークに接続されており、プリントサーバーも同じネットワークに接続されていることを確認します。
2. プリントサーバーを設定します。
   TCP/IP を使用する場合は、プリントサーバーに適切な IP アドレスを設定する必要があります。設定方法の詳細は、「BRAdmin Professional を使用してプリントサーバーを設定する」P.2-3 および「プリントサーバーの設定」P.6-1 を参照してください。
   なお、Mac OS® X では、コンピュータも APIPA（AutoIP）をサポートしているため、APIPA（AutoIP）を使用している環境であれば、同様に APIPA（AutoIP）で自動設定されたプリントサーバーとそのまま通信できます。APIPA（AutoIP）を無効にしている場合は、IP アドレスの設定が必要です。

3.Macintosh® にプリンタドライバをインストールします。
- Mac OS® 8.6~9.2 P.3-3
- Mac OS® X 10.1~10.2 P.3-9

4. プリンタドライバを選択します。
- Mac OS® 8.6~9.2 P.3-6
- Mac OS® X 10.1~10.2 P.3-14

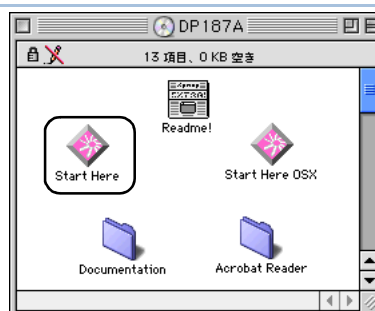
第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

コンピュータの設定（Mac OS® 8.6~9.2）

プリンタドライバのインストール

適切な PPD ファイルを使用する必要があります。
製品に同梱されている CD-ROM から PPD ファイルをインストールできます。

1 製品に同梱されている CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブに挿入します。
CD-ROM の内容が自動的に表示されます。

2 ［Start Here］アイコンをダブルクリックします。

3 ［初期設定］を選択します。

4 ［コンピュータの接続とプリンタドライバのインストールをする］をクリックします。

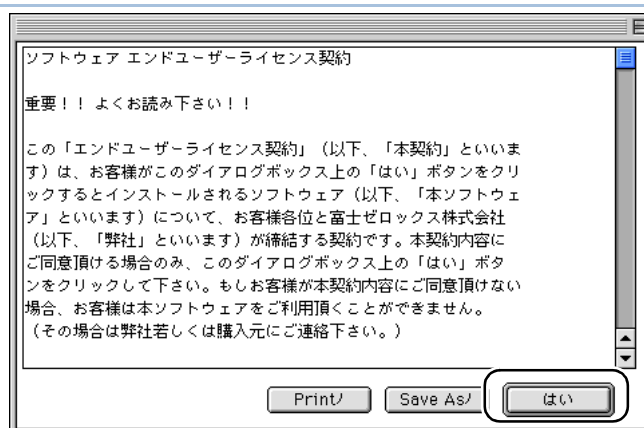
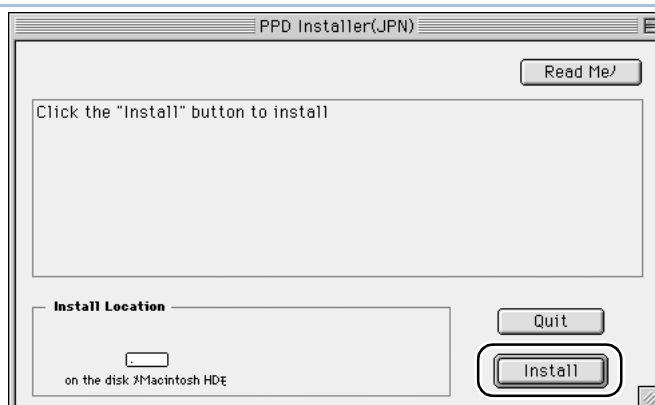
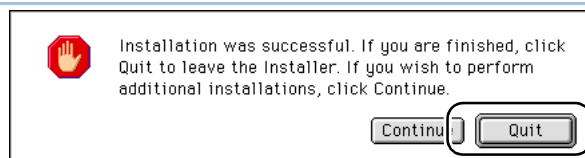
5 ［ネットワーク用ケーブル］を選択します。
ケーブルの接続方法のアニメーションが再生されます。

6 画面の指示にしたがってケーブルを接続します。
アニメーションの再生が終了すると、［次へ］が表示されます。

7 ［次へ］をクリックします。

8 ［インストール］をクリックします。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、［はい］をクリックします。

10 ［Install］をクリックします。

11 ［Quit］をクリックします。
レーザープリンタユーティリティの画面に戻ります。

12 ［END］をクリックします。
これでプリンタドライバのインストールは完了しました。
「プリンタドライバの選択」P.3-5に進んでください。

プリンタドライバの選択

プリンタドライバをインストールした後は、次の手順でプリンタドライバを選択します。プリンタドライバを選択しないとアプリケーションソフトウェアから印刷することができません。

AppleTalk の場合

Macintosh® のアップルメニューから［セレクタ］を選択します。
［セレクタ］が表示されます。

2 ［LaserWriter8］アイコンをクリックします。
複数の AppleTalk Zone を運用している環境では、プリントサーバーの属する AppleTalk Zone を選択してください。

3 ［BRN_xxxxxx_P1_AT］を選択し、［作成］をクリックします。
xxxxxx はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾 6 桁の数字です。

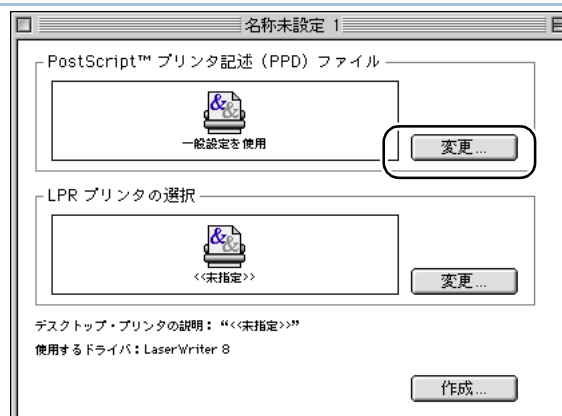
プリントサーバーが表示されない場合は、まず接続ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。また、［AppleTalk］が使用可になっているか、［コントロールパネル］の［AppleTalk］の経由先が［Ethernet］になっているかを確認してください。

TCP/IP の場合

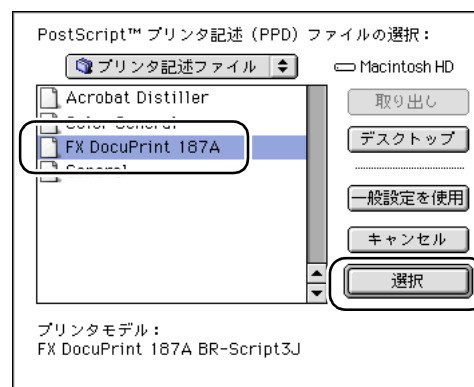
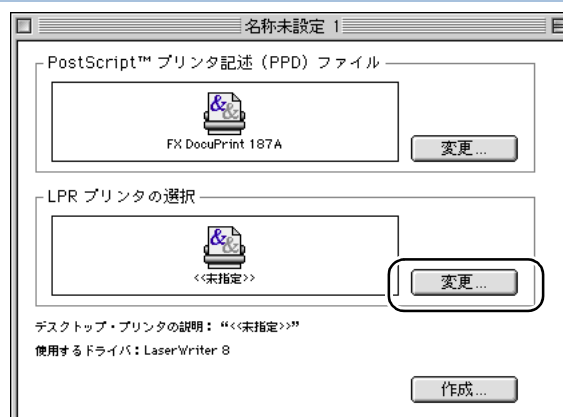
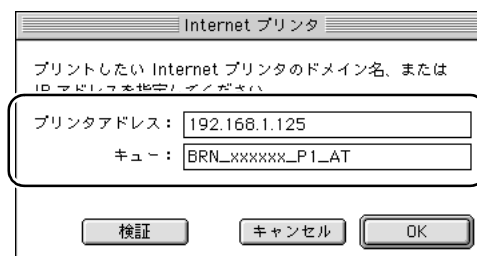
［Macintosh HD］アイコンー［Applications（Mac OS 9)］フォルダー［ユーティリティ］フォルダー［デスクトップ・プリンタ Utility］フォルダの順にダブルクリックします。
（Mac OS 8.6-9.04 をご使用の方は、［Macintosh HD］アイコンー［Apple エクストラ］フォルダー［Apple Laser Writer ソフトウェア］フォルダー［デスクトップ・プリンタ Utility］フォルダの順にダブルクリックします。）
［デスクトップ・プリンタ Utility］が起動します。

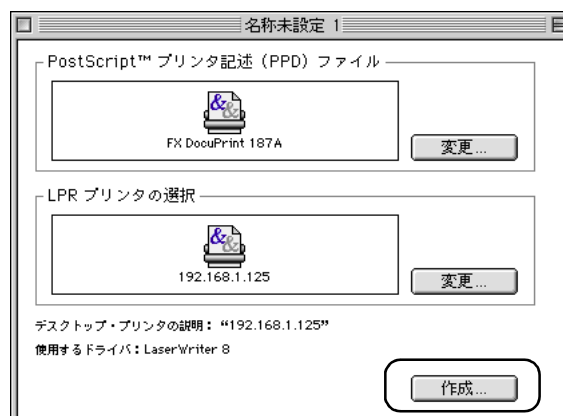
［プリンタ（LPR)］を選択し、［OK］をクリックします。

3

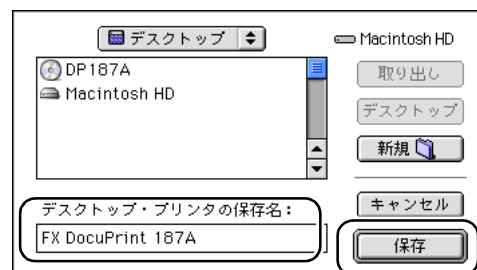
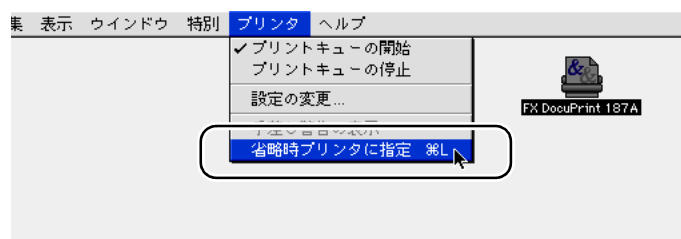
［PostScript プリンタ記述（PPD）ファイル］の［変更…］をクリックします。

4

ご使用になるプリンタに対して適切な PPD ファイルを選択し、［選択］をクリックします。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

[LPR プリンタの選択] の [変更…] をクリックします。

ご使用になるプリンタの IP アドレスとサービス名を入力します。
キューを指定するときには、BRN_xxxxxx _P1_AT を使ってください。xxxxxx はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾 6 桁です。

メモ

- プリンタ設定ページを印刷して、イーサネットアドレスを調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。
- 適切なキュー名を指定していないときは、プリンタで正しく印刷ができません。ここで入力するキュー名と、プリンタのサービス名が一致していることを確認してください。

[OK] をクリックします。

[作成] をクリックします。

［デスクトップ・プリンタの保存名］にご使用のプリンタ名を入力し、［保存］をクリックします。
例：FX DocuPrint 187A

10 手順７で作成したプリンタアイコンをクリックし、［プリンタ］メニューから［省略時プリンタに指定］を選択します。
プリンタが［省略時プリンタ］に指定します。

これでプリンタのセットアップは完了です。

コンピュータの設定（Mac OS® X 10.1 ～ 10.2）

プリンタドライバのインストール

適切な PPD ファイルを使用する必要があります。
製品に同梱されている CD-ROM から PPD ファイルをインストールできます。

1 製品に同梱されている CD-ROM を Macintosh® の CD-ROM ドライブに挿入します。
デスクトップに CD-ROM のアイコンが表示されます。

2 CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。

3 ［Start Here OSX］アイコンをダブルクリックします。
レーザープリンタユーティリティが起動します。

4 ［初期設定］を選択します。

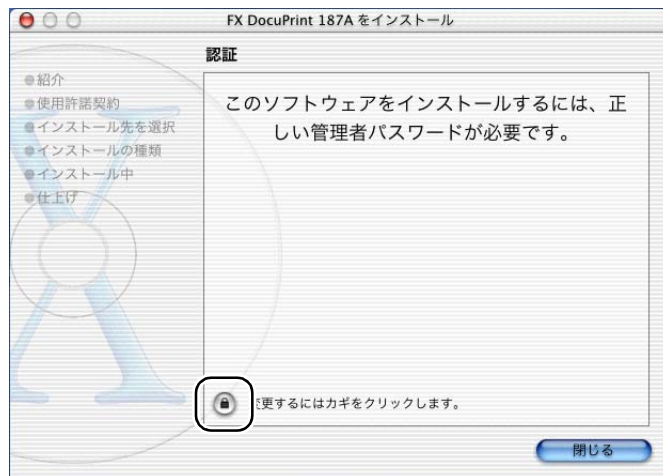
5 ［コンピュータの接続とプリンタドライバのインストールをする］をクリックします。

6 ［ネットワーク用ケーブル］を選択します。
ケーブルの接続方法のアニメーションが再生されます。

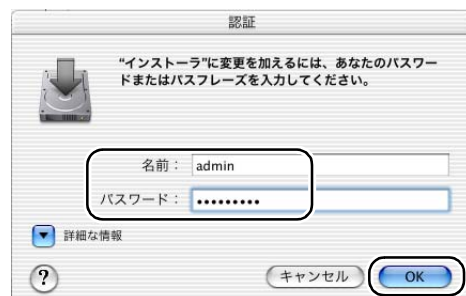
7 画面の指示にしたがってケーブルを接続します。
アニメーションの再生が終了すると、［次へ］が表示されます。

8 ［次へ］をクリックします。

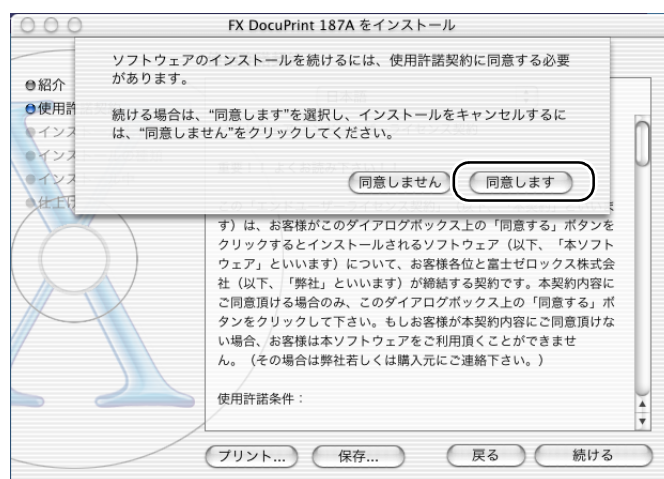
9 ［インストール］をクリックします。

10 ［カギ］をクリックします。

メモ
Mac OS® X のバージョンによっては、この画面が表示されずに、名前とパスワードの入力を求める［認証］画面が表示されます。その場合は手順 11 に進んでください。

11 インストールが可能な管理者の［名前］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックします。

詳しくはシステム管理者にお問い合わせください。

12 ［続ける］をクリックします。

13 使用許諾契約の内容をよく読み、［続ける］をクリックします。

14 ［同意します］をクリックします。

15 インストール先ボリュームを選択して、［続ける］をクリックします。

16 ［アップグレード］をクリックします。

17 ［閉じる］をクリックします。
レーザープリンタユーティリティの画面に戻ります。

18 ［終了］をクリックします。

これでプリンタドライバのインストールは完了しました。
「プリンタドライバの選択」P.3-13**に進んでください。**

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

プリンタドライバの選択

プリンタドライバをインストールした後は、次の手順でプリンタドライバを選択します。プリンタドライバを選択しないとアプリケーションソフトウェアから印刷することができません。

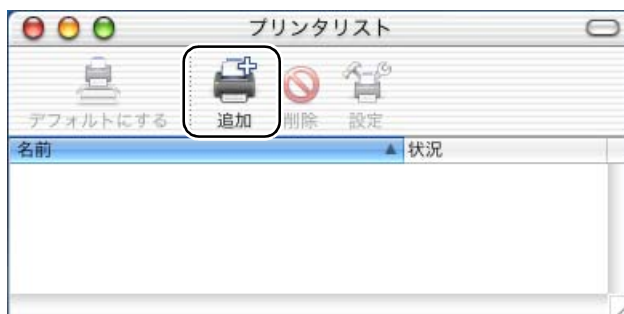
このセクションの画面は、Mac OS® X 10.2.6 の画面です。Mac OS® X 10.1 の画面とは、画面や項目の名称が異なります。

AppleTalk の場合

1 プリンタの電源を入れます。

2 ［Macintosh HD］アイコン－［アプリケーション］フォルダー［ユーティリティ］フォルダー［プリントセンター］アイコンの順にダブルクリックします。

3 ［追加］をクリックします。

- Mac OS® X 10.1 の場合は、［プリンタを追加］をクリックします。

4 ［AppleTalk ］を選択します。

［BRN_xxxxxx_P1_AT］を選択し、［追加］をクリックします。

メモ

Macintosh® のプリンタリストの接続先に表示されるデフォルト名は BRN_xxxxxx_P1_AT です。xxxxxx はプリントサーバーのイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

プリンタが表示されます。

● Mac OS® X 10.2 の場合は、プリンタを選択し、［デフォルトにする］をクリックすると、通常使用するプリンタとして設定されます。

これで、プリンタから印刷できます。

TCP/IP の場合

プリンタの電源を入れます。

［Macintosh HD］アイコン－［アプリケーション］フォルダー［ユーティリティ］フォルダー［プリントセンター］アイコンの順にダブルクリックします。

［追加］をクリックします。

［IP プリント］を選択します。

● Mac OS® X 10.1 の場合は、［IP を使用する LPR プリント］選択します。

ご使用になるプリンタの IP アドレスとキュー名を入力します。

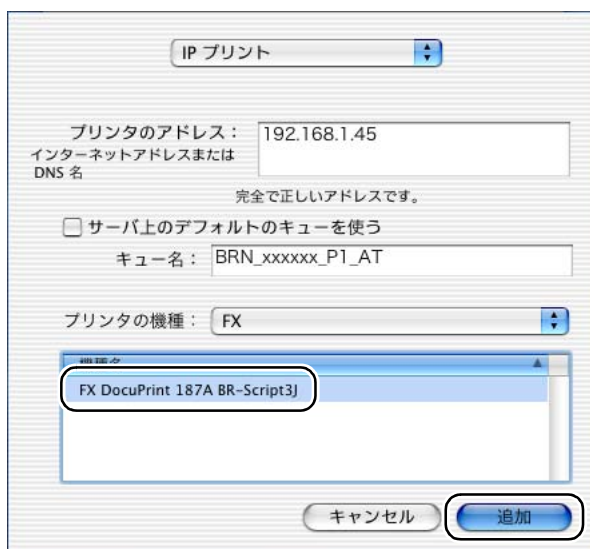
キューを指定するときには、BRN_xxxxxx_P1_AT を使ってください。xxxxx はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾 6 桁です。

- プリンタ設定ページを印刷して、イーサネットアドレスを調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。
- 適切なキュー名を指定していないときは、プリンタで正しく印刷ができません。ここで入力するキュー名と、プリンタのサービス名が一致していることを確認してください。

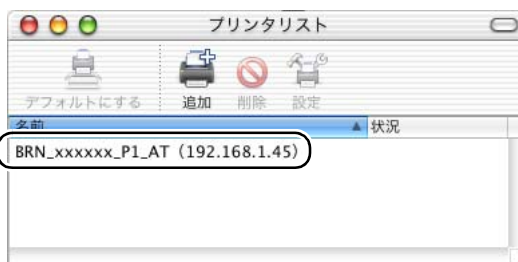
6 ［プリンタの機種］から［FX］を選択します。

7 ［機種名］を選択し、［追加］をクリックします。

Macintosh® にインストールされた PPD ファイルが表示されます。

適切な PPD ファイルを選択してください。

プリンタが表示されます。

- Mac OS® X 10.2 の場合は、プリンタを選択し、［デフォルトにする］をクリックすると、通常使用するプリンタとして設定されます。

これで、プリンタから印刷できます。

プリントサーバーの設定

プリンタ設定ページを印刷して、プリントサーバーの設定情報を調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」ー「コントロールパネルの見かた」ー「ボタン」ー「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

設定の変更

Macintosh® でプリンタまたはプリントサーバーのパラメータを変更するには、ウェブブラウザを使用するのが最も簡単です。この場合は、事前にプリントサーバーに適切な IP アドレスが設定されている必要があります。

1 ウェブブラウザの入力欄に http://ip_address（[ip_address] はご使用になるプリンタの IP アドレス）と入力します。
プリンタに接続します。
例）http://192.168.1.45

2 [ネットワーク設定] をクリックし、[ネットワークカードパスワード] でパスワードを入力します。
デフォルトのパスワードは access です。

3 [AppleTalk の設定] を選択して、[BRN_xxxxxx_P1] をクリックします。
デフォルトの AppleTalk サービス名は「BRN_xxxxxx_P1」で「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。
例） BRN_35CAF7_P1

4 [サービス名] に新しい名称を入力し、[登録] をクリックします。

Windows® コンピュータから BRAdmin Professional を使用して、プリンタとプリントサーバーの設定を変更することもできます。P.2-3

基本編　第 4 章

インターネット印刷する

概要

Windows® 95/98/Me、Windows NT® 4.0 用の FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアを使用すると、インターネットを通じてプリンタに印刷ジョブを送ることができます。
例えば、東京のオフィスにあるコンピュータ上の Microsoft Excel アプリケーションソフトのデータを、大阪のオフィスにあるプリンタで印刷することができます。

Windows® 2000/XP の場合も FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアを使用することができますが、標準サポートされている IPP プロトコルを使用することをお勧めします。詳細は「Windows® 2000/XP でのインターネット印刷」P.4-19を参照してください。

Windows® 95/98/Me の場合は、IPP プロトコルを使用して、Windows® 2000/XP コンピュータを通じて印刷ジョブをプリンタに送ることができます。ただし、Windows® 2000/XP コンピュータで IIS が実行され、クライアントコンピュータに Microsoft Internet Print Services ソフトウェアがインストールされている必要があります。また、Microsoft Internet Explorer のバージョン 4 以降を使用する必要があります。

●設定の流れ

1. 受信側のメールサーバーにメールアカウントを追加し、POP3 プロトコルと SMTP プロトコルを設定します。
2. ネットワークボードの IP アドレスを決定します。（ネットワーク管理者にお問い合わせください。）
3. ネットワークボードの IP アドレス、POP3 サーバーと SMTP サーバーの IP アドレスなどを設定します。P.4-5
4. コンピュータに FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアをインストールします。P.4-10
5. コンピュータにネットワークボードの関連付けをします。P.4-13
6. Windows® 2000/XP のインターネット印刷機能を使用するための設定をします。P.4-19

FUJI XEROX インターネット印刷とは

FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアをインストールすると、Windows® コンピュータ上に、アプリケーションソフトから標準プリンタポートとして取り扱うことのできる仮想ポートが作成されます。
Windows® の印刷マネージャを使用して、Windows® 互換プリンタの場合と同じように、このポートを使用するプリンタを関連付けることができます。
Windows® の任意のアプリケーションソフトから、このプリンタ（仮想ポート）に印刷ジョブを出力することができます。

印刷ジョブが仮想ポートに出力されると、電子メールにデータが添付され、メールサーバーを使用して、リモート環境のネットワークボードに送信されます。
FUJI XEROX インターネット印刷を使用するには、メールサーバーからインターネット上に電子メールを送信できる必要があります。

●動作の詳細

- ローカルエリアネットワーク（LAN）に接続している場合は、電子メールはメールサーバーに送信され、SMTP プロトコル（Simple Mail Transfer Protocol）を使用して、インターネットを通じ、ネットワークボードに転送されます。
- モデムを使用して直接インターネットサービスプロバイダ（ISP）に接続している場合は、この電子メールのネットワークボードへの転送はインターネットサービスプロバイダ（ISP）で処理されます。
- 受信先ではメールサーバーから受け取ったメールを POP3（Post Office Protocol 3）を使用してダウンロードし，添付ファイルを印刷します。

メールサーバーの設定

FUJI XEROX インターネット印刷ジョブの受信設定を行う前に、受信側のメールサーバーで、POP3 プロトコルと SMTP プロトコルの設定を行います。

1 受信側のメールサーバーに、メールアカウントを追加します。

2 メールアカウントとパスワードを設定します。

3 POP3/SMTP が使用できること、有効な IP アドレスが割り当てられていることを確認します。

通常、メールサーバーへのアクセスには制限があるため、メールサーバー管理者にアカウント設定の依頼をしてください。

第1章
基礎
第2章
Windows
第3章
Macintosh
第4章
インターネット
第5章
ブラウザ

ネットワークボードの設定

FUJI XEROX インターネット印刷を使用するには、ネットワークボードに TCP/IP の IP アドレスを設定する必要があります。P.2-3
さらに、ネットワークボードが使用する POP3 サーバーと SMTP サーバーの IP アドレスなどは、次の方法で設定することができます。

- BRAdmin Professional を使用してネットワークボードを設定するP.4-5
- ウェブブラウザを使用してネットワークボードを設定するP.4-7
- TELNET コマンドを使用してネットワークボードを設定するP.4-9

BRAdmin Professional を使用してネットワークボードを設定する

BRAdmin Professional は、TCP/IP プロトコルまたは IPX プロトコルを使用してネットワークボードの各種設定をすることができます。

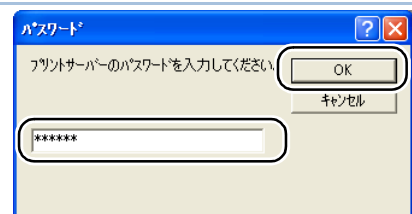
Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 コンピュータから送信された印刷ジョブを、ネットワークボードで受信するように、次の手順で設定します。

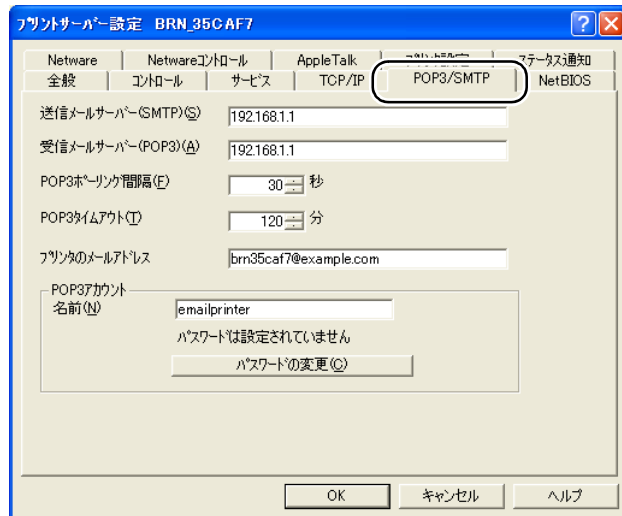
BRAdmin Professional を起動します。

設定するネットワークボードをリストから選択し、ダブルクリックします。
［パスワード］が表示されます。

メモ

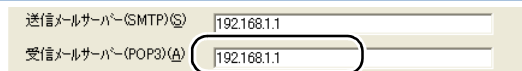
プリンタ設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。ノード名やイーサネットアドレスは 2 ページめに印刷されます。プリンタ設定ページの印刷手順は、取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

パスワードを入力し、［OK］をクリックします。
デフォルトのパスワードは access です。

[POP3/SMTP] タブをクリックします。

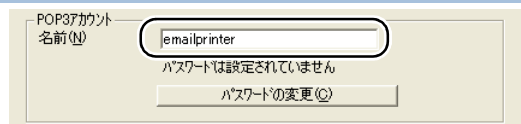
メモ

タイムアウトオプションを設定することもできます。FUJI XEROX インターネット印刷の特長として、印刷ジョブを複数のメールメッセージに分割することができます。このオプションでは、分割印刷ジョブの受信を中止するまでの時間（タイムアウト）を設定します。

5 POP3 サーバーの IP アドレス（またはサーバー名）を入力します。

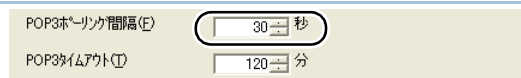
アドレスが分からない場合は、メールサーバー管理者にお問い合わせください。

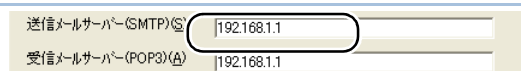
例） 192.168.1.1（pop.xyz.com）

6 [POP3 アカウント] の [名前] に受信側アカウント名（ユーザー名）を入力します。

例） emailprinter

アカウント名（ユーザー名）は、メールアドレスの@より前の部分であるのが通常です。例えば、メールアドレスが emailprinter@xyz.com の場合は、アカウント名（ユーザー名）は emailprinter です。詳しくはメールサーバー管理者にお問い合わせください。

アカウント用のパスワードがあれば入力します。

8 必要に応じて、ネットワークボードからメールサーバーへの印刷ジョブの到着を確認する間隔を設定します。

デフォルトは 30 秒間隔です。

9 印刷結果通知機能を使用する場合は、SMTP サーバーの IP アドレスを入力します。

アドレスが不明の場合は、メールサーバー管理者にお問い合わせください。

10 ［OK］をクリックします。
設定した内容を保存します。

11 ［閉じる］をクリックします。
BRAdmin Professional を終了します。
これで、ネットワークボードで印刷ジョブを受信、印刷することができます。

● ウェブブラウザを使用してネットワークボードを設定する

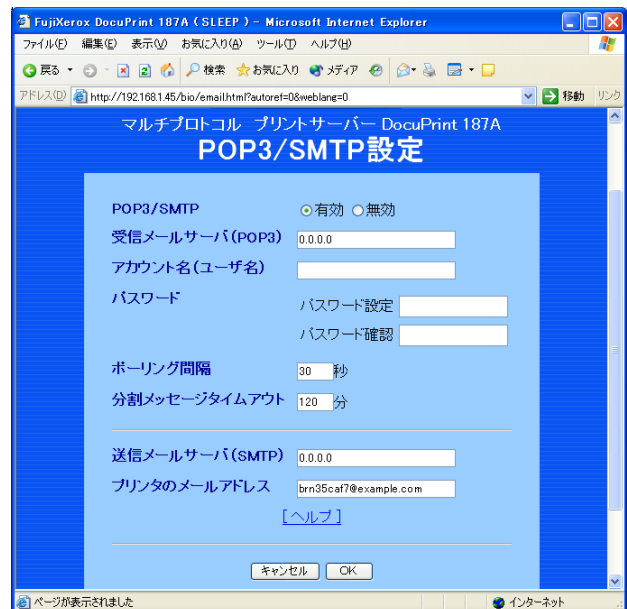
1 ウェブブラウザの入力欄に http://ip_address（［ip_address］はご使用になるネットワークボードの IP アドレス）と入力します。
ネットワークボードの設定画面が表示されます。

例） ネットワークボードの IP アドレスが 192.168.1.45 の場合
　　ブラウザに http://192.168.1.45 と入力します。

2 ［ネットワーク設定］をクリックします。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

パスワードを入力し、[OK] をクリックします。
デフォルトのパスワードは access です。

[POP3/SMTP 設定] を選択し、必要な情報を入力します。
ネットワークボードの設定については前の項目の「BRAdmin Professional を使用してネットワークボードを設定する」の手順 5 ～ 9P.4-6 を参照してください。

メモ

タイムアウトオプションを設定することもできます。FUJI XEROX インターネット印刷の特長として、印刷ジョブを複数のメールメッセージに分割することができます。このオプションでは、分割印刷ジョブの受信を中止するまでの時間（タイムアウト）を設定します。

[OK] をクリックします。
設定した内容を保存します。

[閉じる] をクリックします。
プリントサーバーの設定画面を終了します。
これで、プリントサーバーで印刷ジョブを受信、印刷することができます。

TELNET を使用してプリントサーバーを設定する

プリントサーバーリモートコンソールを使用して、プリントサーバーを設定することができます。このコンソールには TELNET を使用してアクセスします。プリントサーバーにアクセスするには、パスワードが必要です。デフォルトのパスワードは access です。

1 コンソールに接続した後の Local> プロンプトで、次のコマンドを入力します。

SET POP3 ADDRESS ipaddress
SET SMTP ADDRESS ipaddress

ipaddress は POP3 サーバーの IP アドレスです。このアドレスが不明の場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

2 次のコマンドを入力します。

SET POP3 NAME mailboxname
SET POP3 PASSWORD emailpassword

mailboxname は受信側プリントサーバーのアカウント名、emailpassword はそのアカウントに対するパスワードです。通常は、メールボックス名は定義済みの電子メールアドレスの最初の部分と同じです。例えば、電子メールアドレスが emailprinter@xyz.com の場合は、メールボックス名は emailprinter です。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

3 必要に応じて、プリントサーバーからメールサーバーへの印刷ジョブの到着を確認する間隔（デフォルトは 30 秒間隔）を変更します。次のコマンドを入力して変更します。

SET POP3 POLLING rate

rate は秒単位のポーリング間隔です。

4 EXIT と入力してコンソールを終了します。
設定した内容を保存します。

これでプリントサーバーの設定は完了です。

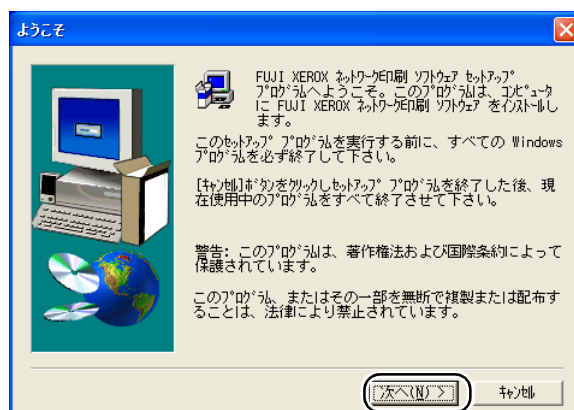
FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアのインストール

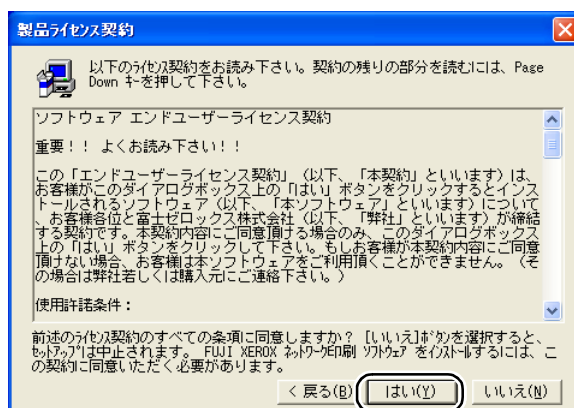
FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアをインストールします。

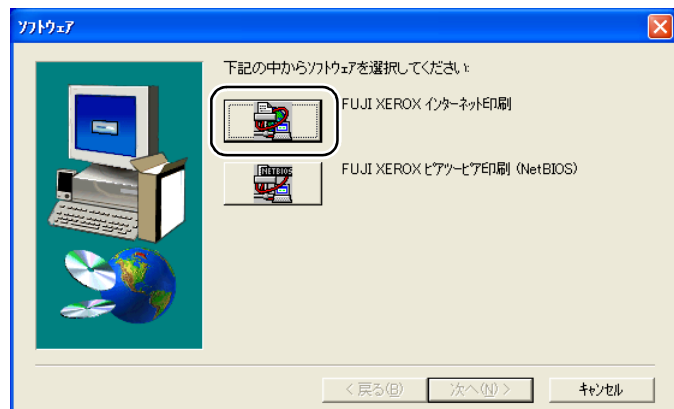
- コンピュータで実行されている電子メールソフト（メーラー）が、電子メールを送信できることを確認してください（Microsoft Outlook など）。
- メールサーバーからインターネットを通じて電子メールを送信できることを確認してください。

1 CD-ROM のインストールメニュープログラムを実行します。
● 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックして画面を表示させてください。
レーザープリンタユーティリティが起動します。

2 ［ソフトウェアのインストール］を選択します。

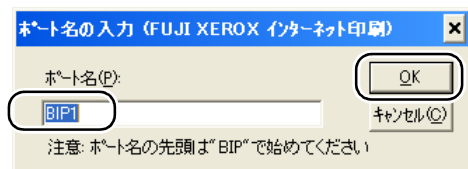
3 ［ネットワークプリントソフトウェア］をクリックします。
FUJI XEROX ネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

4 ［次へ］をクリックします。

5 製品ライセンス契約画面の内容をよく読み、［はい］をクリックします。
FUJI XEROX ネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

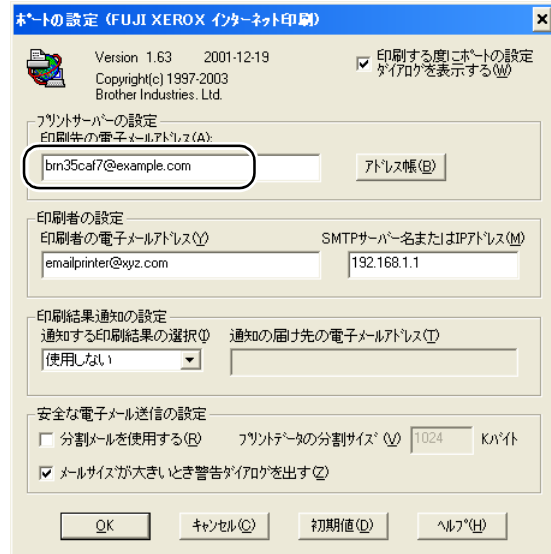
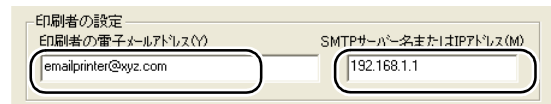
［FUJI XEROX インターネット印刷］をクリックします。

ファイルをインストールするフォルダを入力し、［次へ］をクリックします。

- デフォルトのフォルダから変更する場合は、［参照］をクリックしてフォルダを指定します。
- フォルダが存在しない場合は、新しくフォルダが作成されます。

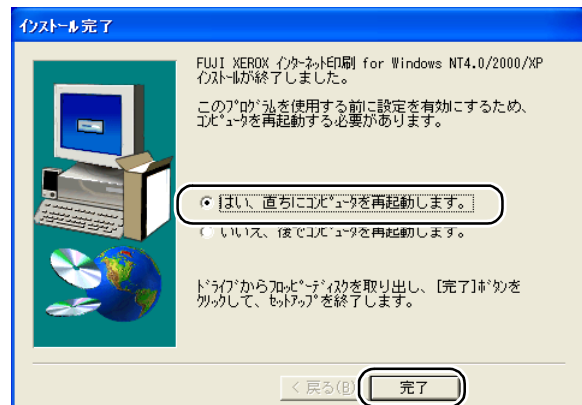
8 使用するポート名を入力し、［OK］をクリックします。

デフォルトのポート名は「BIP1」です。別のポート名を使用する場合は、必ず「BIPx」（x は任意の数字）にしてください。

インターネット印刷の分割のメッセージが表示されたときは、分割サイズを指定します。

受信側プリントサーバーの電子メールアドレスを入力します。
例） brn35caf7@example.com

電子メールアドレスには、スペース文字などを使用することはできません。

10 ［SMTP サーバー名または IP アドレス］と［印刷者の電子メールアドレス］を入力します。
このアドレスが分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

11 ［OK］をクリックします。

12 ［はい、直ちにコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックします。
コンピュータが再起動されます。

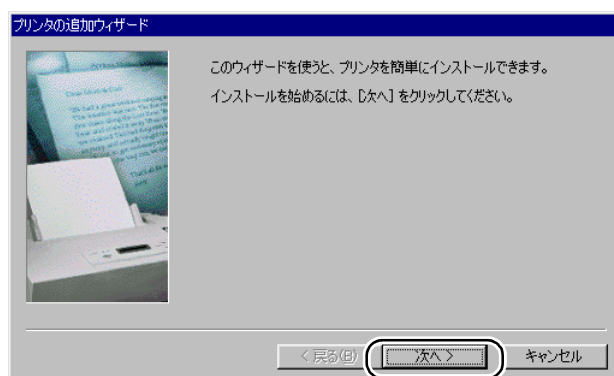
これで、FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアのインストールは完了しました。

- Windows® 95/98/Me の場合は、「リモートプリントサーバーの関連付け（Windows® 95/98/Me）」P.4-13 へ進みます。
- Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0 の場合は、「リモートプリントサーバーの関連付け（Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0）」P.4-15 へ進みます。

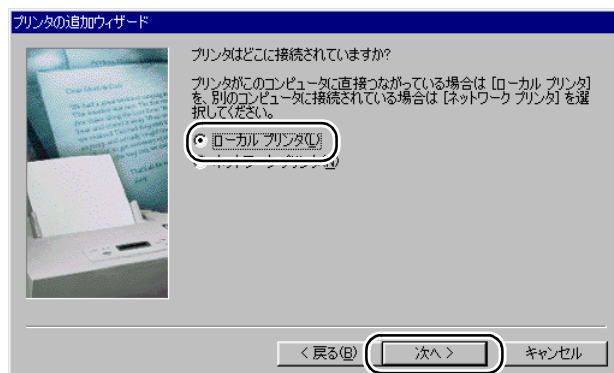
第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

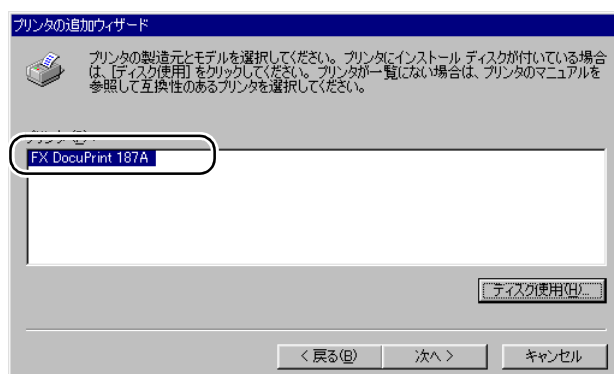
リモートプリントサーバーの関連付け（Windows® 95/98/Me）

作成した FUJI XEROX インターネット印刷のポートに、リモートプリントサーバーの関連付けをします。

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

［次へ］をクリックします。

3 ［ローカルプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。

4 使用するプリンタドライバを指定します。

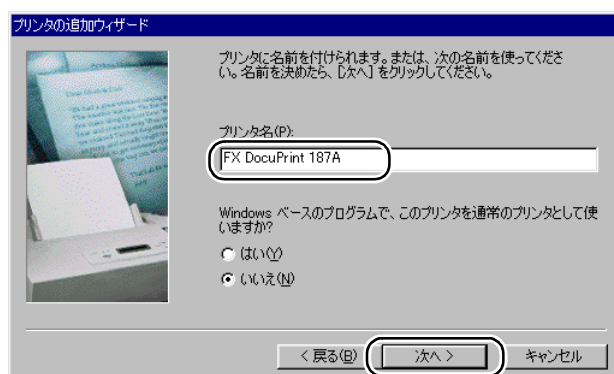
［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

5 ［次へ］をクリックします。

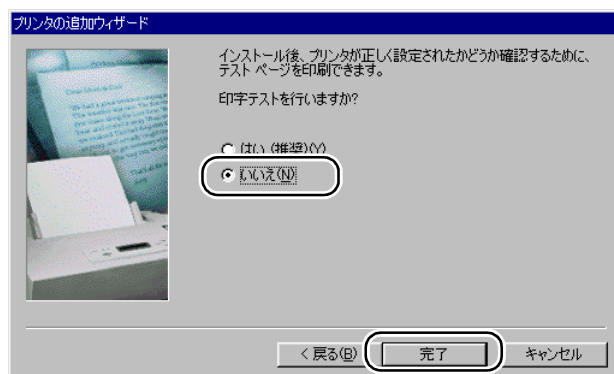
すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

6 「FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポートを選択し、［次へ］をクリックします。
例）BIP1

7 必要に応じて［プリンタ名］を変更します。
例）FX DocuPrint 187A

この名称は、「FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポート名、手順 10 で指定した電子メールアドレスと特に一致している必要はありません。

8 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。
テスト印刷をするかどうかの確認メッセージが表示されます。

9 テスト印刷をするかどうかの選択では、リモートプリントサーバーで印刷ジョブを受信する設定が済んでいる場合を除き［いいえ］をクリックし、［完了］をクリックします。

これで、リモートプリントサーバーの関連付けは完了しました。

FUJI XEROX インターネット印刷ポートの追加

FUJI XEROX インターネット印刷ポートを追加するときは、FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［詳細］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［ポートの追加］の［その他］をクリックし、［FUJI XEROX Internet Port］を選択します。
⑤ ［OK］をクリックします。
［ポート名の入力］が表示されます。
⑥ 「FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアのインストール」P.4-11の手順 9 ～ 12 を実行します。BIP で始まる他のポートと重ならない名前を入力します。

続いて、Windows® 2000/XP の IPP インターネット印刷機能を使用するための設定をします。P.4-19へ進んでください。

リモートプリントサーバーの関連付け（Windows® 2000/XP、Windows NT® 4.0）

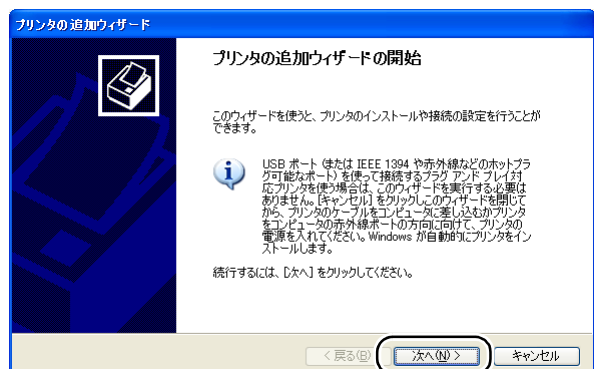
作成した FUJI XEROX インターネット印刷のポートに、リモートプリントサーバーの関連付けをします。

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタのインストール］をクリックします。

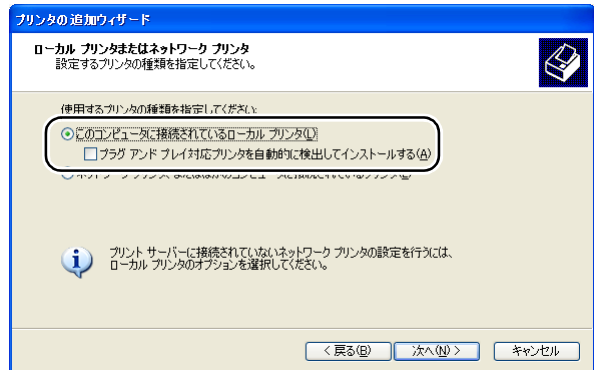
- Windows® 2000、Windows NT® 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

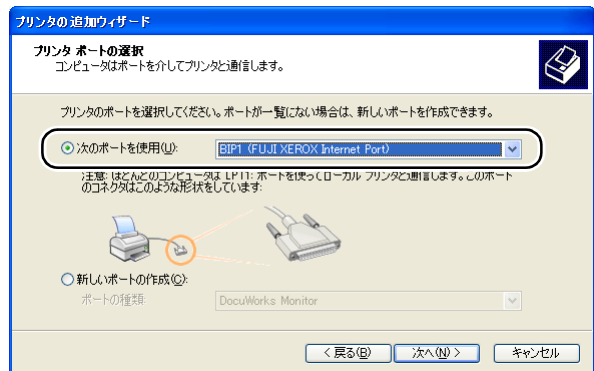
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

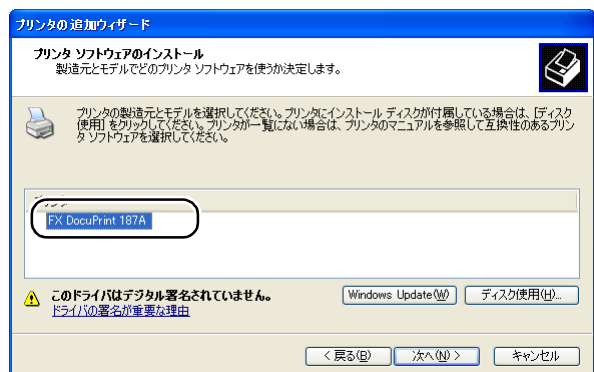
- Windows NT® 4.0 の場合は、手順 3 へ進みます。

［次へ］をクリックします。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。

- Windows® 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。
- Windows NT® 4.0 の場合は、［このコンピュータ］を選択します。

［次へ］をクリックします。

5 ［次のポートを使用］をクリックし、「FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポートを選択します。
例）BIP1

6 ［次へ］をクリックします。

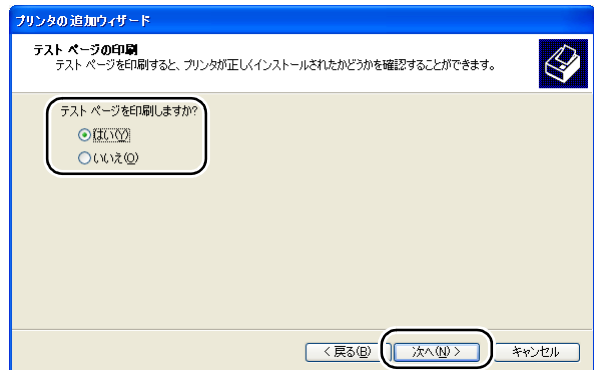
使用するプリンタドライバを指定します。
［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

［次へ］をクリックします。

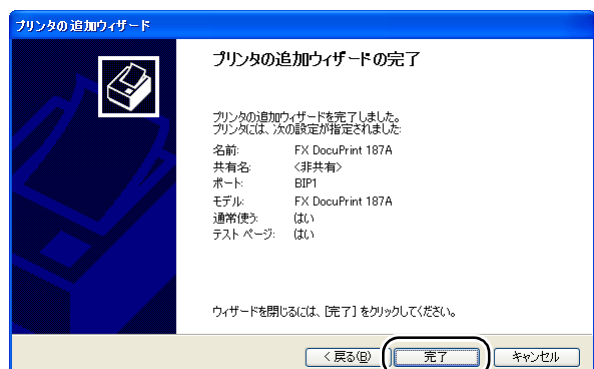
すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

9 必要に応じて、［プリンタ名］を変更します。
例）FX DocuPrint 187A
この名称は、「FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアのインストール」の手順 9 で作成したポート名、手順 10 で指定した電子メールアドレスと特に一致している必要はありません。

10 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

11 このプリンタを共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力して、［次へ］をクリックします。

12 テスト印刷をするかどうかの選択では、リモートプリントサーバーで印刷ジョブを受信する設定が済んでいる場合を除き［いいえ］をクリックし、［次へ］をクリックします。

13 ［完了］をクリックします。
［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、リモートプリントサーバーの関連付けは完了しました。

FUJI XEROX インターネット印刷ポートの追加

FUJI XEROX インターネット印刷ポートを追加するときは、FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、設定するプリンタをクリックします。（Windows® 2000、Windows NT® 4.0 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。）
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［ポートの追加］の［FUJI XEROX Internet Port］を選択します。
⑤ ［新しいポート］をクリックします。
［ポート名の入力］が表示されます。
⑥ 「FUJI XEROX インターネット印刷ソフトウェアのインストール」P.4-11の手順 9 ～ 12 を実行します。BIP で始まる他のポートと重ならない名前を入力します。

続いて、Windows® 2000/XP の IPP インターネット印刷機能を使用するための設定をします。P.4-19へ進んでください。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

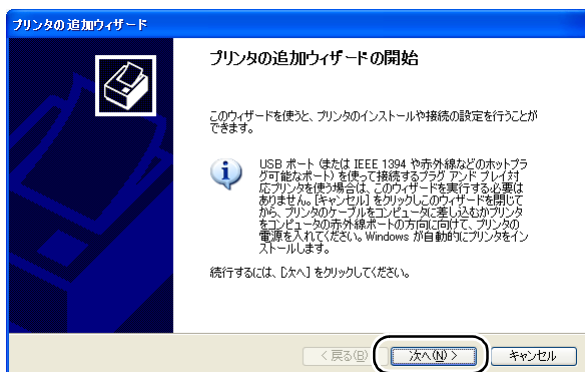
Windows® 2000/XP での IPP インターネット印刷

Windows® 2000/XP の IPP インターネット印刷機能を使用するには、次の手順を実行します。

プリントサーバーの IP アドレス設定が完了し、ネットワークに接続されている必要があります。

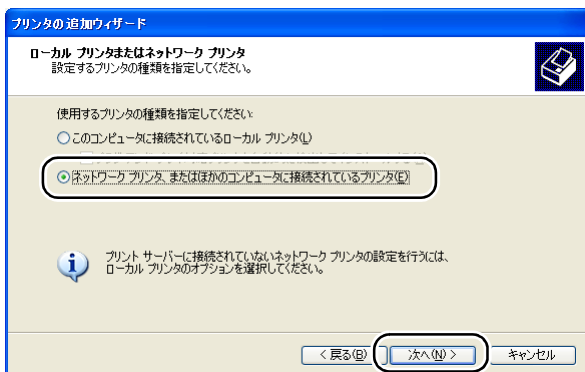
1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタのインストール］をクリックします。

● Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

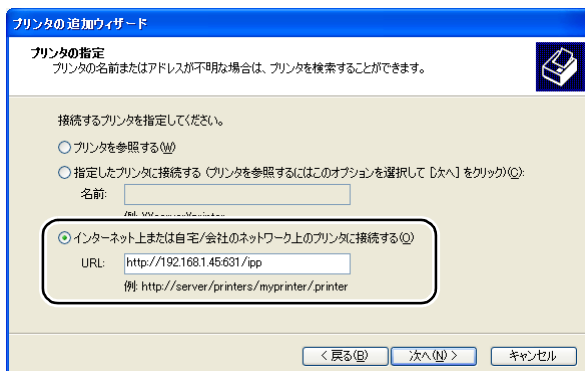
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 ［次へ］をクリックします。

3 ［ネットワークプリンタまたはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。

● Windows® 2000 の場合は、［ネットワークプリンタ］をクリックします。

［プリンタの指定］画面が表示されます。

4 ［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］をクリックし、［URL:］ボックスに次の URL を入力します。

● Windows® 2000 の場合は、［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］をオンにし、［URL:］ボックスに次の URL を入力します。

http://printer_ip_address:631/ipp

printer_ip_address はプリンタの IP アドレスまたは DNS 名です。
例）プリンタの IP アドレスが 192.168.1.45 の場合
http://192.168.1.45:631/ipp

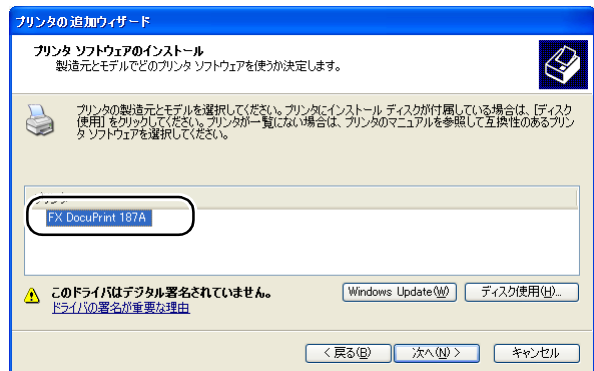
第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

［次へ］をクリックします。
指定した URL に接続されます。

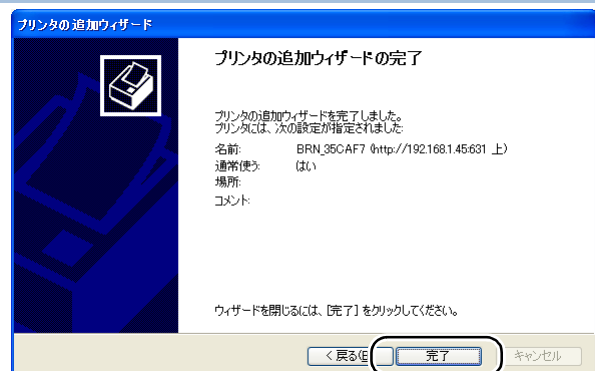
● 必要なプリンタドライバがインストールされている場合
適したプリンタドライバがコンピュータにインストールされている場合は、そのドライバが自動的に使用されます。
ドライバをデフォルトのプリンタドライバにするかどうかを選択し［次へ］をクリックします。
手順 8 に進んでください。

● 必要なプリンタドライバがインストールされていない場合
IPP 印刷プロトコルのメリットの 1 つは、通信先のプリンタのモデル名が自動的に確定されることです。プリンタとの通信が確立すると、自動的にプリンタのモデル名が表示されるため、使用するプリンタドライバの種類を Windows® 2000/XP に対して指定する必要はありません。
プリンタドライバがインストールされていない場合は、プリンタ追加ウィザードのプリンタ選択画面が表示されます。手順 6 に進んでください。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

使用するプリンタドライバを指定します。
［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

［次へ］をクリックします。

［完了］をクリックします。

これで、Windows® 2000/XP の IPP インターネット印刷機能の設定は完了しました。このコンピュータを経由してインターネット印刷ができます。

別の URL を指定する

［URL］ボックスには、次の何種類かの入力が可能です。

「詳細」タブをクリックしてもプリンタのデータは表示されません。

http://printer_ip_address:631/ipp
デフォルトの URL です。この URL の使用をお勧めします。

http://printer_ip_address:631/
URL の詳細を忘れた場合は、このテキストだけでもプリンタに受け付けられ、データが処理されます。

プリントサーバーに内蔵されているサービス名を使用する場合は、次の URL も使用できます。
http://printer_ip_address : 631/brn_xxxxxx_p1
http://printer_ip_address : 631/binary_p1
http://printer_ip_address : 631/text_p1
http://printer_ip_address : 631/postscript_p1
http://printer_ip_address : 631/pcl_p1
http://printer_ip_address : 631/brn_xxxxxx_p1_at

printer_ip_address はプリンタの IP アドレスです。
xxxxxx はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

基本編　第5章

ウェブブラウザで管理する

概要

標準のブラウザで、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）プロトコルを使用して、プリンタを管理することができます。使用するブラウザは Netscape Navigator バージョン 4.XX 以降または Internet Explorer バージョン 5.XX 以降をお勧めします。

ウェブブラウザによるプリンタ情報の取得およびプリンタの設定は、Windows® からでも Macintosh® からでも行えます。

ウェブブラウザを使用して、次の情報をプリンタから取得することができます。

1. プリンタのステータス情報
2. プリンタのコントロールパネルの制御
3. プリンタとプリントサーバーのバージョン情報
4. ネットワーク設定とプリンタ設定の変更

●条件

- コンピュータが TCP/IP プロトコルを使用可能なこと
- コンピュータに LAN ボードが装備され、ネットワークに接続可能なこと
- プリントサーバーとコンピュータに有効な IP アドレスを設定していること

●設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ウェブブラウザを起動し、プリントサーバーに IP アドレスを入力します。P.5-3

ブラウザを使用してプリンタに接続する方法

● ブラウザを使用してプリンタに接続する方法

ウェブブラウザの入力欄に http://ip_address（[ip_address］はご使用になるプリンタの IP アドレス）と入力します。

例） プリンタの IP アドレスが 192.168.1.45 の場合
ブラウザに http://192.168.1.45 と入力します。

- Windows® のドメイン / ワークグループ環境の場合は、プリントサーバーの NetBIOS 名を使用することもできます。
- DNS プロトコルを使用するネットワークに接続されているプリンタの場合は、プリンタの DNS 名を入力します。

プリンタに接続すると、プリントサーバーの設定画面が表示されます。
目的のプリンタの管理機能へのリンクをクリックします。

- プリンタの IP アドレスを変更する場合は、［ネットワーク設定］をクリックします。
- プリンタの設定を表示する場合は、［プリンタ情報］をクリックします。

メモ

設定関連のリンクをクリックすると、パスワードの入力を要求されます。
デフォルトのパスワードは "access" です。

第1章 基礎
第2章 Windows
第3章 Macintosh
第4章 インターネット
第5章 ブラウザ

特殊設定編

特殊設定編 第 6 章

プリントサーバー設定

概要

TCP/IP プロトコルを使用するには、ネットワーク上の各デバイスに固有の IP アドレスを設定する必要があります。また、FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアを使用して印刷するときは、ドメイン名（ワークグループ名）を変更する必要があります。
この章では、基本編で紹介していないプリントサーバーの IP アドレスの設定方法やドメイン名（ワークグループ名）の設定方法について説明します。

IP アドレスの設定

IP アドレスの自動設定機能

プリントサーバーは各種の IP アドレス自動配布機能に対応しています。
デフォルトでは以下の機能が有効になっており、プリントサーバー起動時に自動的に IP アドレスを割り当てることができます。

IP アドレス配布サーバーを使用する
- DHCP を使用して自動的に設定する。P.6-5

設定される IP アドレス内容は、IP アドレス配布サーバーに依存します。

上記の IP アドレス配布サーバーがない環境では、APIPA（AutoIP）機能によって、プリントサーバー自身でアドレスを割り当てます。（上記 IP アドレス配布サーバーからの割り当てが優先します。）

アドレス：169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲のいずれかになります。
サブネットマスク：255.255.0.0
ゲートウェイ：0.0.0.0

- APIPA による割り当ては、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適さない場合があります。そのような場合は、以下の説明にしたがって、IP アドレスを変更する必要があります。
- APIPA 機能を無効にしたい場合は、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

IP アドレスの自動設定機能が無効な場合のデフォルトの IP アドレスは、192.0.0.192 です。使用しているネットワークの IP アドレス設定規則に合わせて、IP アドレスを変更してください。
IP アドレスは、次項のいずれかの方法で変更できます。

プリンタ設定ページを印刷して、現在の設定値を調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

IP アドレスの設定方法

プリントサーバーの設定状態に応じて、以下の方法があります。
なお、使用するコンピュータと同じネットワーク上にプリントサーバーが接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータ越しに接続されている場合は、さらにルータ（ゲートウェイ）のアドレスも設定します。

デフォルト状態のプリントサーバーを使用する場合

- BRAdmin Professional（IPX/SPX または TCP/IP プロトコルを使用する Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 用）を使用する。P.6-4

TCP/IP で通信できる状態のプリントサーバーの設定を変更する

- BRAdmin Professional（IPX/SPX または TCP/IP プロトコルを使用する Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 用）を使用する。P.6-4
- HTTP（ウェブブラウザ）を使用する。P.6-8
- TELNET を使用する。P.6-7

メモ
設定を変更するときは、パスワードの入力を要求される場合があります。
デフォルトのパスワードは "access" です。

ドメイン名（ワークグループ名）の設定

プリントサーバーのデフォルトのドメイン名（ワークグループ名）は WORKGROUP です。プリントサーバーのデフォルトのドメイン名（ワークグループ名）が、使用しているネットワークでのドメイン名（ワークグループ名）の設定規則に適していない場合は、ドメイン名（ワークグループ名）を変更してください。
ドメイン名（ワークグループ名）は、BRAdmin Professional（IPX/SPX または TCP/IP プロトコルを使用する Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 用）を使用して変更することができまが、それ以外に以下の方法で設定することができます。

- BRCONFIG を使用する。（Novell ネットワークサーバが必須です）P.6-8
- TELNET を使用する。P.6-8
- HTTP（ウェブブラウザ）を使用する。P.6-8

IP アドレスの設定方法

BRAdmin Professional を使用する

BRAdmin Professional は、Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 専用です。

BRAdmin Professional では、プリントサーバーとの通信に、IPX/SPX または TCP/IP プロトコルが使用できます。プリントサーバーのデフォルトの IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。
BRAdmin Professional を使用して、次のいずれかの方法で IP アドレスを変更することができます。ただし、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、自動的に IP アドレスが設定されます。工場出荷時の設定では、APIPA の機能が有効になっていますので、必要に応じて下記の方法で IP アドレスを変更してください。

- IPX/SPX プロトコルを使用する。
- TCP/IP プロトコルを使用し、BRAdmin Professional にプリントサーバーを未設定デバイスとして認識させる。P.2-3

IPX/SPX プロトコルを使用して IP アドレスを変更する

コンピュータに Novell Netware Client ソフトウェアがインストールされ、IPX/SPX プロトコルを使用している場合は、次の手順を実行します。

1 プリンタをネットワークに接続し、ネットワーク上に接続されたコンピュータから BRAdmin Professional を起動します。

2 メインウィンドウの左側のフレームで、［フィルタ］の［IPX/SPX］を選択します。

3 プリントサーバー名を確認します。
デフォルトのノード名は「BRN_xxxxxx」で、「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

● 目的のプリントサーバーの名前が表示されていない場合は、［デバイス］メニューの［稼働中のデバイスの検索］をクリックしてください（<F4> キーを押しても検索することができます）。

プリンタ設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

4 設定するプリントサーバーをリストから選択し、ダブルクリックします。
［パスワード］が表示されます。

5 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

6 ［TCP/IP］タブをクリックします。

7 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ（必要な場合）を入力します。

8 ［IP 設定］を［手動］に設定します。

9 ［OK］をクリックします。

10 ［閉じる］をクリックします。

11 IP アドレスを正しく設定すると、デバイスリストにプリントサーバー名およびプリンタ名が表示されます。

12 BRAdmin Professional、ウェブブラウザ、または TELNET を使用して、プリントサーバーをリスタートします。
リスタートの方法が分からない場合はプリンタの電源を切り、その後電源を入れ直してください。

TCP/IP プロトコルを使用して IP アドレスを変更する

TCP/IP プロトコルを使用している場合は、「BRAdmin Professional を使用してプリントサーバーを設定する」P.2-3を参照してください。

DHCP を使用して自動的に設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IP アドレス自動割り当て機能の 1 つです。ネットワークに DHCP サーバーがある場合は、その DHCP サーバーからプリントサーバーに自動的に IP アドレスが割り当てられ、RFC1001 および 1002 準拠の動的名前サービスを使用して、その名前が登録されます。

DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように設定してください。BRAdmin Professional、ウェブブラウザ、または TELNET（SET IP METHOD コマンド）を使用して、IP の設定方法を手動（static（固定））に設定します。

第6章 プリントサーバー
第7章 Netware
第8章 DLC
第9章 トラブル対応
第10章 付録
索引

ARP を使用する

BRAdmin Professional、および DHCP サーバーを使用することができない場合は、ARP コマンドを使用します。ARP の使用は、プリントサーバーの IP アドレスを設定する最も簡単な方法です。TCP/IP をインストールした Windows® システムで ARP を使用することができます。
ARP を使用するには、コマンドプロンプトで、次のコマンドを入力します。

arp -s ipaddress ethernetaddress

- ethernetaddress は、プリントサーバーのイーサネットアドレス（MAC アドレス）です。
- ipaddress はプリントサーバーの IP アドレスです。

例を次に示します。

Windows® システム

Windows® システムでは、イーサネットアドレス（MAC アドレス）の各桁の間にハイフン（-）が必要です。

Arp -s 192.189.207.2 00-80-77-31-01-07

- このコマンドは同一のネットワークセグメント上でなければ使用できません。つまり、プリントサーバーとご使用のコンピュータの間にルータがある場合は使用できません。ルータがある場合は、BOOTP またはこの章で説明する他の方法を使用して IP アドレスを設定してください。
- システム管理者が、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、プリントサーバーには IP アドレスが自動的に割り当てられるため、ARP コマンドを使用する必要はありません。
- ARP コマンドは 1 回しか使用できません。つまり、ARP コマンドを使用してプリントサーバーの IP アドレスを設定した場合は、セキュリティのため、再度 ARP コマンドを使用して IP アドレスを変更することはできません。IP アドレスの変更が必要な場合は、ウェブブラウザ、TELNET（SET IP ADDRESS コマンドを使用）を使用します。ただし、プリントサーバーを工場出荷時の状態にリセットすると、再び ARP コマンドを使用することができます。
- プリントサーバーの設定および接続の検証を行うには、ping ipaddress コマンドを入力します。ipaddress はプリントサーバーの IP アドレスです。
例）ping 192.189.207.2

TELNET コンソールを使用する

TELNET コマンドを使用して、IP アドレスを変更することができます。
TELNET を使用は効率のよい方法ですが、事前にプリントサーバーに有効な IP アドレスが割り当てられている必要があります。

1 プリントサーバーへの接続時に <RETURN> キーを押し、「#」プロンプトにパスワードを入力します。
デフォルトのパスワードは access です。入力したパスワードは表示されません。
Enter username> プロンプトが表示されます。

2 ユーザー名の入力では、プロンプトに対して任意の名前を入力します。
Local> プロンプトが表示されます。

3 コマンド SET IP ADDRESS ipaddress を入力します。
ipaddress はプリントサーバーに割り当てる IP アドレスです。使用する IP アドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。例を次に示します。

Local>SET IP ADDRESS 192.189.207.3

4 コマンド SET IP SUBNET subnet mask を入力し、サブネットマスクを設定します。
subnet mask はプリントサーバーに割り当てるサブネットマスクです。使用するサブネットマスクについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。例を次に示します。

Local>SET IP SUBNET 255.255.255.0

- サブネットマスクを使用していない場合は、次のデフォルトのサブネットマスクのいずれかを使用します。

  255.255.255.0クラス C ネットワーク用
  255.255.0.0クラス B ネットワーク用
  255.0.0.0クラス A ネットワーク用

  IP アドレスの左端の数字で、ネットワークのクラスが識別できます。この値は、クラス C ネットワークの場合は 192 ～ 223（192.189.207.3 など）、クラス B ネットワークの場合は 128 ～ 191（128.10.1.30 など）、クラス A ネットワークの場合は 1 ～ 126（13.27.7.1 など）です。

- ゲートウェイ（ルータ）が存在する場合は、その IP アドレスをコマンド SET IP ROUTER routeraddress を使用して設定します。
  routeraddress はプリントサーバーに割り当てるゲートウェイの IP アドレスです。例を次に示します。

Local>SET IP ROUTER192.189.207.1

5 SHOW IP コマンドを使用し、IP アドレスが正しく設定されているかどうかを調べます。

6 EXIT を入力するか、<CTR>+<D> キーを押し（<CTR> キーを押したまま <D> キーを押します）、リモートコンソールセッションを終了します。

第6章 プリントサーバー
第7章 Netware
第8章 DLC
第9章 トラブル対応
第10章 付録
索引

ドメイン名（ワークグループ名）の設定方法

TELNET を使用する

BRAdmin Professional を使用することができない場合は、TELNET を使用します。

1 プリントサーバーへの接続時に、「#」プロンプトにパスワードを入力します。
デフォルトのパスワードは access です。入力したパスワードは表示されません。
Enter username> プロンプトが表示されます。

2 ユーザー名の入力では、プロンプトに対して任意の名前を入力します。
Local> プロンプトが表示されます。

3 次のコマンドを入力します。

```
SET NETBIOS DOMAIN domainname
EXIT
```

domainname は、現在ログオンしているドメインまたはワークグループの名前です。

ウェブブラウザを使用する

一般的なウェブブラウザを使用して NetBIOS 名を変更することもできます。

1 ウェブブラウザの入力欄に http://ip_address（[ip_address] はご使用になるプリンタの IP アドレス）と入力します。
プリントサーバーの設定画面が表示されます。
例）プリンタの IP アドレスが 192.168.1.45 の場合
ブラウザに http://192.168.1.45 と入力します。

2 [ネットワーク設定] をクリックします。

3 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。
デフォルトのパスワードは access です。

4 [NetBIOS 設定] を選択し、必要な情報を入力します。

5 [ドメイン名] ボックスにワークグループ名またはドメイン名を入力します。

6 [OK] をクリックします。
設定した内容を保存します。

7 [閉じる] をクリックします。
プリントサーバーの設定画面を終了します。

特殊設定編 第 7 章

Novell NetWare で印刷する

概要

プリントサーバーを使用すると、NetWare クライアントコンピュータから印刷することができます。
NetWare での印刷ジョブは、すべて Novell サーバーにいったんスプールされ、プリンタが印字可能になるとプリンタに送られます。

Novell NetWare から印刷する

- プリントサーバーを NetWare ネットワークで使用するには、印刷キューを NetWare サーバー上に設定する必要があります。印刷ジョブは NetWare サーバーの印刷キューに送られ、直接、またはリモートプリントモードの場合は中間プリントサーバーを通じて、プリントサーバーにスプールされます。
- BRAdmin Professional を使用して、NetWare システム上に Bindery または NDS（NeWare 4 および NetWare 5）ベースのキューを作成できます。アプリケーションの切り替えは必要ありません。
- NetWare 5 で NDPS プリンタを設定する場合は、NetWare 5 に付属の NWADMIN アプリケーションを使用する必要があります。
- BRAdmin Professional を使用して NetWare サーバー上にキュー情報を作成するには、Novell NetWare Client 32 のインストールが必要です。
- BRAdmin Professional が使用できない場合は、NetWare PCONSOLE ユーティリティ、または NWADMIN ユーティリティを使用してキューを作成できます。BRCONFIG ユーティリティ、TELNET、またはウェブブラウザを使用してプリントサーバーの設定を行う必要があります。
- プリントサーバーは、最大 16 のファイルサーバーと 32 のキューに対してサービスを行うことができます。

NetWare5 用 NWADMIN を使用して NDPS プリンタを作成する

Novell NetWare 5 で NDPS（Novell 分散印刷）と呼ばれる新しい印刷システムがサポートされました。プリントサーバーの設定を行う前に、NetWare 5 サーバーへの NDPS のインストールと、サーバー上での NDPS マネージャの設定が必要です。
NDPS プリンタと印刷についての詳細は、「その他の情報」P.7-22 を参照してください。

NDPS マネージャ

サーバーで使用しているサービスによって、プリンタエージェントを管理する NDPS マネージャの作成方法について説明します。
サーバーベースの印刷エージェントを作成する前に、NDS ツリー内に NDPS マネージャを作成する必要があります。
サーバーに直接接続されているプリンタを NDPS マネージャで制御する場合は、プリンタの接続されているサーバーにマネージャをロードしてください。

1. NetWare アドミニストレータ（NWADMIN）で、NDPS マネージャをロードするコンテキストに移動します。
2. ［オブジェクト］－［作成］－［NDPS マネージャ］の順に選択し、［OK］をクリックします。
3. NDPS マネージャ名を入力します。
4. NDPS マネージャを作成するサーバー（NDPS はインストール済みで NDPS マネージャは未作成）を検索し、NDPS マネージャデータベースを割り当てるボリュームを指定します。
5. ［作成］をクリックします。

NDPS ブローカー

NDPS をインストールすると、NDPS ブローカーがネットワーク上にロードされます。
ブローカーサービスの 1 つのリソース管理サービスにより、プリンタエージェントで使用するプリンタドライバをサーバー上にインストールすることができます。
次の手順で、プリンタドライバをブローカーに追加します。

1. リソース管理サービスが有効になっていることを確認します。
2. NetWare アドミニストレータで、ブローカーオブジェクトのメインウィンドウを開きます。
3. ［リソース管理ビュー］を選択します。
4. ［リソース管理］ダイアログボックス内の［リソースの追加］をクリックします。
［リソース管理］ダイアログボックスが表示されます。

第6章 プリントサーバー
第7章 Netware
第8章 DLC
第9章 トラブル対応
第10章 付録
索引

5 追加するプリンタドライバのタイプを示しているアイコンをクリックします。
選択したタイプの、現在ロードされているすべてのリソースのリストが、[現在のリソース] ウィンドウに表示されます。

NetWare 5 用の Windows® 95/98/Me、または Windows NT® 4.0 ドライバがあります。(NetWare 5.1 では Windows® 2000 ドライバもサポートされています。) NetWare 4.x で NDPS バージョン 1 を使用している場合は、Windows® 95/98/Me しか使用できません。NetWare 4.x 用 NDPS バージョン 2 では Windows NT® ドライバの自動ダウンロードがサポートされています。

6 [追加] をクリックします。
[< リソースタイプ > の追加] ダイアログボックスが表示されます。
表示されたリソースがインストールされます。

7 [参照] をクリックし、このリストに追加するドライバを指定します。
ドライバリストに複数のプリンタが表示される場合があります。これは多言語をサポートするドライバです。

プリンタエージェントの作成

コントロールアクセスプリンタの場合

次の手順で、プリンタエージェントをコントロールアクセスプリンタ(NDS オブジェクト)用として作成する場合は、あらかじめ NDPS マネージャをロードしてから、次の手順を実行します。

1 NetWare アドミニストレータ(NWADMIN)で、[オブジェクト] ー [作成] ー [NDPS プリンタ] の順に選択します。

2 NDPS プリンタ名を入力します。

- 新しいプリンタの場合は、[新しいプリンタエージェント] を選択します。
- 既存の NDS プリンタを NDPS を使用するようにアップグレードする場合は、[既存の NDS プリンタオブジェクト] を選択し、アップグレードするプリンタオブジェクトを選択します。

3 プリンタエージェントを参照する名前を入力し、NDPS マネージャの名前を入力します。
[参照] をクリックして、NDPS マネージャを選択することもできます。

4 プリンタエージェント用のゲートウェイタイプとして [Novell プリンタゲートウェイ] を選択し、[OK] をクリックします。

5 プリンタタイプとして [None]、ポートハンドラタイプとして [Novell ポートハンドラ] を選択し、[OK] をクリックします。

6 使用する接続のタイプを指定します。
4 つの選択可能なオプションの中から、[Remote(LPR or IP)] を選択します。

7 プリンタの IP アドレスまたは host 名を入力します。
プリンタ名として Binary_P1 の使用をお勧めします。

8 ［完了］をクリックします。

9 クライアントオペレーティングシステム用プリンタドライバを選択します。

パブリックアクセスプリンタの場合

プリンタエージェントをパブリックアクセスプリンタ用に作成する場合は、あらかじめ NDPS マネージャをロードしてから、次の手順を実行します。

1 NetWare アドミニストレータ（NWADMIN）で、NDPS マネージャをダブルクリックします。

2 ［プリンタエージェントリスト］をクリックします。

3 ［新規］をクリックします。

4 プリンタエージェントを参照する名前を入力します。

5 ゲートウェイタイプとして［Novell プリンタゲートウェイ］を選択し、［OK］をクリックします。

6 プリンタタイプとして［None]、ポートハンドラタイプとして［Novell ポートハンドラ］を選択し、［OK］をクリックします。

7 使用する接続のタイプを指定します。
4 つの選択可能なオプションの中から、［LPR over IP］を選択します。

8 プリンタの関連情報を入力します。
プリンタ名として Binary_P1 の使用をお勧めします。

9 ［完了］をクリックします。

10 クライアントオペレーティングシステム用プリンタドライバを選択します。

第6章 プリントサーバー
第7章 Netware
第8章 DLC
第9章 トラブル対応
第10章 付録
索引

NetWare 3 または 4 システムの設定

BRAdmin Professional は、NetWare PCONSOLE（NetWare 4.1x 以降では NWADMIN）ユーティリティと同等の機能を備えたアプリケーションソフトです。
BRAdmin Professional を使用して NetWare 上のプリントサーバーを設定するには、SUPERVISOR（NetWare 2.xx、3.xx）または ADMIN（NetWare 4.1x 以降）としてログインし、下記の手順を実行する必要があります。

BRAdmin Professional を使用して NetWare サーバー上にキュー情報を作成するには、Novell NetWare Client 32 のインストールが必要です。

BRAdmin Professional を使用する

プリントサーバー（Bindery エミュレーションモードでのキューサーバーモード）の設定

1 SUPERVISOR（NetWare 2.xx、3.xx）または ADMIN（NetWare 4.xx 以降）でサーバーにログインします。

2 BRAdmin Professional を起動します。
右側のリストに 1 つ以上のプリントサーバーが表示されます。
デフォルトのノード名は「BRN_xxxxxx」で「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

メモ
プリンタ設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

3 設定するプリントサーバーをリストから選択し、ダブルクリックします。
［パスワード］が表示されます。

4 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。
デフォルトのパスワードは access です。

5 ［NetWare］タブを選択します。

必要に応じて、［プリントサーバー名］を変更します。デフォルトの NetWare プリントサーバー名は「BRN_xxxxxx」で、「xxxxxx」はプリントサーバーのイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。この名前を変更すると、プリントサーバーサービス名が変更されるため、他のプロトコルの設定に影響を与える可能性がありますので注意してください。

6 ［動作モード］で［キューサーバー］が選択されていない場合は、［キューサーバー］を選択します。

7 ［バインダリキューの変更］をクリックします。

第6章 プリントサーバー
第7章 Netware
第8章 DLC
第9章 トラブル対応
第10章 付録
索引

8 設定する NetWare サーバーを選択します。

9 ［作成］をクリックし、作成するキューの名前を入力します。
作成するキューの名前が反転表示されます。

10 ［追加］をクリックします。

11 ［閉じる］をクリックします。

12 ［OK］をクリックします。

13 BRAdmin Professional を終了します。

これで印刷の準備は完了です。

プリントサーバー（NDS モードでのキューサーバーモード）の設定

1 NDS モードの ADMIN としてログインします。

2 BRAdmin Professional を起動します。
右側のリストに 1 つ以上のプリントサーバーが表示されます。
デフォルトのノード名は「BRN_xxxxxx」で「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

プリンタ設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

3 設定するプリントサーバーをリストから選択し、ダブルクリックします。
［パスワード］が表示されます。

4 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。
デフォルトのパスワードは access です。

5 ［NetWare］タブを選択します。

6 ［動作モード］で［キューサーバー］が選択されていない場合は、［キューサーバー］を選択します。

第6章 プリントサーバー
第7章 Netware
第8章 DLC
第9章 トラブル対応
第10章 付録
索引

7 正しい NDS ツリーと NDS コンテキストを選択します。
手動で入力するか、NDS ツリーのそばにある下向き矢印をクリックして NDS ツリーを選択し、NDS コンテキストのそばにある［変更］をクリックして NDS コンテキストを選択します。
BRAdmin を使用して自動的に表示させることができます。

8 ［NDS キューの変更］をクリックします。

9 ［Netware プリントキュー］の画面で、適切なツリーとコンテキストを選択します。

10 ［作成］をクリックします。

11 キュー名を入力し、ボリューム名を指定します。
- ボリューム名が分からない場合は［参照］をクリックし、NetWare ボリュームを検索します。
入力した情報に誤りがなければ、［OK］をクリックします。

作成したキュー名が、指定したツリーとコンテキストに表示されます。キュー名が［サービス中のプリントキュー］ウィンドウに移動します。キュー名情報に加えてツリーとコンテキストの情報も、このウィンドウに表示されます。

12 ［閉じる］をクリックします。
これで、プリントサーバーは、適切な NetWare サーバーにログインします。

13 BRAdmin Professional を終了します。

これで印刷の準備は完了です。

Novell NWADMIN と BRAdmin Professional を使用する

プリントサーバー（NDS モードでのキューサーバーモード）の設定

BRAdmin Professional と NWADMIN アプリケーションを併用して、NetWare ファイルサーバーを設定します。

1. NetWare 4.1x 以降のファイルサーバーに、NDS モードの ADMIN としてログインします。
2. NWADMIN アプリケーションを起動します。
3. 目的のプリンタを作成するコンテキストを選択し、［オブジェクト］－［作成］をクリックします。
4. ［新しいオブジェクト］メニューで［プリンタ］を選択し、［OK］をクリックします。
5. プリンタ名を入力し、［作成］を選択します。
6. プリントキューを作成するコンテキストを選択し、［オブジェクト］－［作成］をクリックします。
7. ［新しいオブジェクト］メニューで［プリントキュー］を選択し、［OK］をクリックします。
8. ［ディレクトリサービスキュー］を選択し、プリントキューの名前を入力します。
9. プリントキューボリュームを選択するボタンをクリックします。
   必要に応じてディレクトリコンテキストを変更し、［使用可能なオブジェクト］から目的のボリュームを選択し、［OK］をクリックします。
10. ［作成］をクリックします。
    印刷キューが作成されます。
11. 必要に応じてコンテキストを変更し、手順 4 で作成したプリンタ名をダブルクリックします。
12. ［割り当て］をクリックし、［追加］をクリックします。
13. 必要に応じてコンテキストを変更し、手順 7 で作成したプリントキューを選択します。
14. ［設定］をクリックし、［プリンタの種類］を「その他 / 不明」に設定します。

15 ［OK］をクリックします。

16 必要に応じてコンテキストを変更し、［オブジェクト］－［作成］をクリックします。

17 ［新しいオブジェクト］メニューで［プリントサーバー］を選択し、［OK］をクリックします。

18 プリントサーバー名を入力し、［作成］を選択します。
プリントサーバーの NetWare プリントサーバー名を、BRAdmin Professional の［NetWare］タブに表示されるとおりに入力します。
名前を変更していなければ、通常は、デフォルトのサービス名 BRN_xxxxxx_P1 です。

メモ プリンタ設定ページを印刷して、サービス名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

プリントサーバーにパスワードを設定しないでください。設定するとログインできなくなります。

19 プリントサーバーの名前をダブルクリックします。

20 ［割り当て］をクリックし、［追加］をクリックします。

21 必要に応じてディレクトリコンテキストを変更し、手順 4 で作成したプリンタを選択します。

22 ［OK］をクリックし、もう一度［OK］をクリックします。

23 NWADMIN を終了します。

24 BRAdmin Professional を起動します。
右側のリストに 1 つ以上のプリントサーバーが表示されます。
デフォルトのノード名は「BRN_xxxxxx」で「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

メモ プリンタ設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

25 設定するプリントサーバーをリストから選択し、ダブルクリックします。
［パスワード］が表示されます。

26 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。
デフォルトのパスワードは access です。

27 ［NetWare］タブを選択します。

28 動作モードとして［キューサーバー］を選択します。
NetWare サーバー名によって割り当てられる同一のサービスを、キューサーバーモードとリモートプリンタモードの両方で使用することはできません。

メモ **デフォルトの NetWare サービスではないサービスでキューサーバー機能を使用する場合は、NetWare と目的のポートで使用可能なサービスを新たに定義しなければなりません。詳しい方法は、本書の「付録」を参照してください。**

29 NDS ツリー名を入力します。
プリントサーバーは、NDS キューとバインダリキューの両方に対してサービスを行うことができます。

30 プリントサーバーをロードするコンテキスト名を入力します。

31 設定した内容を保存したことを確認して、BRAdmin Professional を終了します。

これで印刷の準備は完了です。

プリントサーバー（NDS モードでのリモートプリンタモード）の設定

NWADMIN（NetWare 管理ユーティリティ）と BRAdmin Professional を使用して、プリントサーバーをリモートプリンタモードに設定します。

1 NetWare 4.1x ファイルサーバーに PSERVER NLM（NetWare Loadable Module）がロードされていることを確認し、ファイルサーバーに NDS モードで ADMIN としてログインします。

2 NWADMIN アプリケーションを起動します。

3 目的のプリンタを作成するコンテキストを選択し、［オブジェクト］－［作成］を選択します。

4 ［新しいオブジェクト］メニューで［プリンタ］を選択し、［OK］をクリックします。

5 プリンタ名を入力し、［作成］を選択します。

第6章 プリントサーバー
第7章 Netware
第8章 DLC
第9章 トラブル対応
第10章 付録
索引

6 PSERVER NLM のプリントサーバーの名前をダブルクリックします。

7 ［割り当て］をクリックし、［追加］をクリックします。

8 必要に応じディレクトリコンテキストを変更し、手順 5 で作成したプリンタをダブルクリックします。

9 プリンタ番号をメモに記録し、［OK］をクリックします。
記録したプリンタ番号は後で使用します。

10 プリントキューを作成するコンテキストを選択し、［オブジェクト］ー［作成］をクリックます。

11 ［新しいオブジェクト］メニューで［プリントキュー］を選択し、［OK］をクリックします。

12 ［ディレクトリサービスキュー］を選択し、プリントキューの名称を入力します。

13 プリントキューボリュームを選択するボタンをクリックします。
必要に応じてディレクトリコンテキストを変更し、ボリューム（オブジェクト）を選択して、［OK］をクリックします。

14 ［作成］をクリックします。
プリントキューが作成されます。

15 必要に応じてコンテキストを変更し、手順 5 で作成したプリンタ名をダブルクリックします。

16 ［割り当て］をクリックし、［追加］をクリックします。

17 必要に応じてコンテキストを変更し、作成したプリントキューを選択します。

18 ［OK］をクリックし、もう一度［OK］をクリックします。

19 NWADMIN を終了します。

20 BRAdmin Professional を起動します。
右側のリストに 1 つ以上のプリントサーバーが表示されます。
デフォルトのノード名は「BRN_xxxxxx」で「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です。

プリンタ設定ページを印刷して、NetWare サービス名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章 プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

21 設定するプリントサーバーをリストから選択し、ダブルクリックします。

［パスワード］が表示されます。

22 パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

デフォルトのパスワードは access です。

23 ［NetWare］タブを選択します。

24 ［動作モード］として［リモートプリンタ］を、［PSERVER NLM］として手順 6 で指定したプリントサーバー名を、［プリンタ番号］として手順 9 で記録したプリンタ番号を入力します。

NetWare プリントサーバーによって割り当てられる同一のサービスを、キューサーバーモードとリモートプリンタモードの両方で使用することはできません。デフォルトの NetWare サービスではないサービスでリモートプリンタ機能を使用する場合は、NetWare と目的のポートで使用可能なサービスを新たに定義しなければなりません。

25 ［OK］をクリックし、BRAdmin Professional を終了します。

ここで、いったん NetWare ファイルサーバーコンソールから PSERVER NLM をアンロードし、設定した内容を反映するために再ロードする必要があります。

BRAdmin Professional や Novell NWADMIN アプリケーションではなく、弊社の BRCONFIG プログラムと標準の Novell PCONSOLE ユーティリティを併用して印刷キューの設定を行うこともできます。BRCONFIG プログラムは BRAdmin Professional のインストール時に同時にインストールされます。［スタート］メニューから［プログラム（Windows® XP の場合は［すべてのプログラム］)］－［FUJI XEROX Administrator Utilities］－［FUJI XEROX BRAdmin Professional Utilities］－［BRConfig］の順にクリックすると起動できます。

第6章 プリントサーバー
第7章 Netware
第8章 DLC
第9章 トラブル対応
第10章 付録
索引

PCONSOLE と BRCONFIG を使用する

プリントサーバー（Bindery エミュレーションモードでのキューサーバーモード）の設定

1 Supervisor（NetWare 3.xx）または ADMIN（NetWare 4.xx 以降、バインダリモードの場合は /b オプションの指定が必要）としてログインします。

2 Windows® の［スタート］メニューから［プログラム（Windows® XP の場合は［すべてのプログラム］)］－［FUJI XEROX Administrator Utilities］－［FUJI XEROX BRAdmin Professional Utilities］－［BRConfig］の順にクリックします。

3 プリントサーバーのリストから一致するプリントサーバー名を選択します。
プリントサーバーが接続されましたというメッセージが表示されます。

4 「#」プロンプトにパスワードを入力します。
デフォルトのパスワードは access です。入力したパスワードは表示されません。
Enter username> プロンプトが表示されます。

5 何も入力せずに、<ENTER> キーを押します。
Local> プロンプトが表示されます。

6 次のコマンドを入力します。

SET NETWARE SERVER servername ENABLE

servername は、印刷キューを作成するファイルサーバーの名前です。複数のファイルサーバーから印刷を行う場合は、このコマンドを必要なだけ繰り返します。

7 EXIT と入力します。
設定した内容を保存して、BRCONFIG リモートコンソールプログラムを終了します。

8 Novell PCONSOLE ユーティリティを起動します。

9 NetWare 4.xx の場合には＜ F4 ＞キーを押下して Bindery モードに切り替えます。

10 ［使用可能な項目］メニューで、［プリントサーバー情報］（NetWare 4.xx）または［プリントサーバー］（NetWare 4.xx）を選択します。
● NetWare 4.1x の場合は、警告メッセージが表示されますが、そのまま次へ進んでください。
現在のプリントサーバーのリストが表示されます。

11 <INSERT> キーを押し、NetWare プリントサーバー名を入力します。
新しいエントリが作成されます。
デフォルトの NetWare プリントサーバー名は「BRN_xxxxxx_P1」で「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の６桁です。

12 <ESCAPE> キーを押します。
［使用可能オプション］メニューに戻ります。

13 ［プリントキュー情報］（NetWare 3.xx）または［プリントキュー］（NetWare4.xx）を選択します。
設定済みプリントキューのリストが表示されます。

14 <INSERT> キーを押し、作成するキューの名称を入力します。
ファイルサーバー上に新しいキューが作成されます。
作成するキューの名称は、プリントサーバーリソースと関連のない名称でもかまいません。簡単で短く覚えやすい名称にすることをお勧めします。

15 <ENTER> キーを押します。

16 新しいキュー名が反転表示されていることを確認し、<ENTER> キーを押します。

17 ［キューサーバー］（NetWare 4.xx の場合は［プリントサーバー］）を選択して、<ENTER> キーを押します。

18 印刷キューから印刷ジョブを出力するネットワークプリントサーバーを指定します。
新しいキューの場合は、関連付けられているプリントサーバーはありませんので、このリストには何も表示されません。

19 <INSERT> キーを押します。
選択可能なキューサーバーのリストが表示されます。

20 手順 11 で作成したプリントサーバーサービス名を選択し、<ENTER> キーを押します。

21 <ESCAPE> キーを数回押します。
［使用可能オプション］メニューに戻ります。

22 プリントサーバーに印刷ジョブ用ファイルサーバーの再スキャンを実行させます。
プリンタの電源を入れ直すか、または BRCONFIG または TELNET の SET NETWARE RESCAN コマンドを使用し、プリントサーバーにファイルサーバーの再スキャンを実行させます。

プリントサーバー（NDS モードでのキューサーバーモード）の設定

1 NetWare 4.1x ファイルサーバーに、NDS モードの ADMIN としてログインします。

2 ワークステーションから PCONSOLE ユーティリティを実行します。

3 ［利用可能な項目］メニューの［プリントサーバー］を選択します。

4 <INSERT> キーを押し、プリントサーバー名を入力します。
プリントサーバーの NetWare プリントサービス名を、プリンタ設定ページに表示されるとおりに入力します。
名称を変更していなければ、デフォルトの NetWare プリントサービス名は「BRN_xxxxxx_P1」で「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の６桁です。

プリンタ設定ページを印刷して、NetWare プリントサービス名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第１章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

プリントサーバーにパスワードを設定しないでください。設定するとログインできなくなります。

5 <ESCAPE> キーを押します。
［利用可能な項目］メニューに戻ります。

6 ［プリントキュー］を選択します。

7 <INSERT> キーを押し、プリントキュー名を入力します。

8 再度 <INSERT> キーを押し、適切なボリューム名を選択します。

9 <ESCAPE> キーを押します。
メインメニューに戻ります。

10 新しいキュー名が反転表示されていることを確認し、<ENTER> キーを押します。

11 ［プリントサーバー］を選択し、<ENTER> キーを押します。
このプリントキューから印刷ジョブを出力するネットワークプリントサーバーが指定されます。
プリントサーバーの指定がはじめての場合は、リストには何も表示されません。

12 <INSERT> キーを押します。
使用可能なキューサーバーのリストが表示されます。

13 手順 4 で入力したプリントサーバー名を選択します。
リストに追加されます。

14 <ENTER> キーを押します。

15 <ESCAPE> キーを数回押します。
［利用可能な項目］メニューに戻ります。

16 ［利用可能な項目］メニューの［プリンタ］を選択します。

17 <INSERT> キーを押し、プリンタ名を入力します。

18 作成したプリンタ名が反転表示されているのを確認し、<ENTER> キーを押します。
［プリンタの環境設定］画面が表示されます。

19 ［プリントキュー割当て］：（リスト参照）を選択し、<ENTER> キーを押します。
プリントキューは割当てられていないので、プリントキューのリストには何も表示されません。

20 <INSERT> キーを押します。
プリントキューのリストが表示されます。

21 手順 7 で作成したプリントキュー名を選択します。

22 <ESCAPE> キーを数回押します。
［利用可能な項目］メニューに戻ります。

23 ［プリントサーバ］を選択し、手順 4 で入力したプリントサーバー名を選択します。

24 ［プリントサーバー情報］メニューの［プリンタ］オプションを反転表示にします。

25 <INSERT> キーを押し、手順 17 で入力したプリンタ名を選択します。

26 <ESCAPE> キーを数回押し、PCONSOLE を終了させます。
DOS プロンプトへ戻ります。

27 Windows® の［スタート］メニューから［プログラム（Windows® XP の場合は［すべてのプログラム］)］－［FUJI XEROX Administrator Utilities］－［FUJI XEROX BRAdmin Professional Utilities］－［BRConfig］の順にクリックします。

28 プリントサーバーのリストから一致するプリントサーバー名を選択します。
プリントサーバーが接続されましたというメッセージが表示されます。

29 「#」プロンプトにパスワードを入力します。
デフォルトのパスワードは access です。入力したパスワードは表示されません。
Enter username> プロンプトが表示されます。

30 何も入力せずに、<ENTER> キーを押します。
Local> プロンプトが表示されます。

31 次のコマンドを入力します。

SET SERVICE service TREE tree
SET SERVICE service CONTEXT Context

- tree は NDS ツリー名です。
- Context はプリントサーバーをロードするコンテキスト名です。
  デフォルトの NetWare プリントサーバー名は「BRN_xxxxxx_P1」で「xxxxxx」はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の６桁です。
- ウェブブラウザで TCP/IP プロトコルを使用してプリントサーバーに接続し、NetWare プロトコル設定を選択して、TREE 名および CONTEXT 名を入力することもできます。

32 BRCONFIG または TELNET の SET NETWARE RESCAN コマンドを使用してプリントサーバーにファイルサーバーの再スキャンを実行させるか、プリンタの電源を入れ直します。

NetWare プリントサーバーによって割り当てられる同一のサービスを、キューサーバーモードとリモートプリンタモードの両方で使用することはできません。

メモ **デフォルトの NetWare サービスではないサービスでリモートプリンタ機能を使用する場合は、NetWare と目的のポートで使用可能なサービスを新たに定義しなければなりません。**サービス名の詳細は、「サービスの使用」P.10-3 を参照してください。

プリントサーバー（リモートプリンタモード）の設定

1 ファイルサーバーに PSERVER NLM（NetWare Loadable Module）がロードされていることを確認します。

2 ファイルサーバーにログオンします。
- NetWare 4.1x を使用している場合は、ワークステーションから ADMIN としてファイルサーバーにログインします（NDS サポートが必要な場合は、バインダリモードでログインしないでください）。
- NetWare 2.xx または 3.xx を使用している場合は、SUPERVISOR としてログインします

3 ワークステーションから PCONSOLE ユーティリティを実行します。

4 ［利用可能な項目］メニューで［プリントキュー情報］（NetWare 3.xx）または［プリントキュー］（NetWare 4.xx）を選択します。
新しいプリントキューが作成されます。

5 <INSERT> キーを押し、プリントキュー名を入力します。
NetWare 4.xx の場合はボリューム名の入力も必要です。<INSERT> キーを押し、適切なボリューム名を選択します。

6 <ESCAPE> キーを押します。
メインメニューに戻ります。

NetWare 4.xx システムで NDS をサポートしたリモートプリンタを設定する場合

a PCONSOLE のメニューで［プリントサーバー］を選択し、ファイルサーバーにロードされている PSERVER NLM のプリントサーバー名を選択します。
b ［プリンタ］を選択します。
c <INSERT> キーを押し、［オブジェクト］の［クラス］メニューを表示します。
d <INSERT> キーを押し、プリンタ名（任意）を入力します。
e プリンタ名を反転表示し、<ENTER> キーを 2 回押します。
［プリンタの設定］メニューを表示します。
f PCONSOLE によってプリンタ番号が割り当てられています。プリンタ番号をメモに記録しておきます（記録したプリンタ番号は後で使用します）。
g ［プリントキュー割当て］（リスト参照）を反転表示し、<ENTER > キーを押します。
h <INSERT> キーを押します。
使用可能なキューのリストを表示します。
i リモートプリンタに割り当てる印刷キューの名前を反転表示し、<ENTER> キーを押します。
j メニューの他の項目の設定は必要ありません。<ESCAPE> キーを数回押し、PCONSOLE を終了します。
k リモートプリンタ名とプリンタ番号のセクションの手順を実行します。
「BRCONFIG を使用して、リモートプリンタ名とプリンタ番号を割り当てる」P.7-21を参照してください。

NetWare 3.xx システムでのリモートプリンタを設定する場合

a PCONSOLE のメインメニューで［プリントサーバー情報］を選択し、PSERVER NLM の名称を選択します。
b ［プリントサーバーの設定］を選択し、［プリンタの設定］を選択します。
c 任意の「未インストール」プリンタを選択し、<ENTER> キーを押します。
プリンタ番号をメモに記録しておきます（記録したプリンタ番号は後で使用します）。
d 必要に応じて、プリンタの名称を入力します。
e ［種類］を選択して <ENTER> キーを押します。
f ［リモートその他 / 不明］を反転表示し、もう一度 <ENTER> キーを押します。
メニューの他の項目の設定は必要ありません。
g <ESCAPE> キーを押します。
設定した内容を保存します。
h <ESCAPE> キーを押し、［プリンタがサービスを行うキュー］を選択します。
i 設定したプリンタの名前を反転表示し、<ENTER> キーを押します。
j <INSERT> キーを押し、目的の印刷キューを選択します。
k <ENTER> キーを押します。
デフォルトの優先順位を選択します。
l <ESCAPE> キーを数回押して、PCONSOLE を終了します。
m リモートプリンタ名とプリンタ番号のセクションの手順を実行します。
「BRCONFIG を使用して、リモートプリンタ名とプリンタ番号を割り当てる」P.7-21を参照してください。

BRCONFIG を使用して、リモートプリンタ名とプリンタ番号を割り当てる

1 Windows® の［スタート］メニューから［プログラム（Windows® XP の場合は［すべてのプログラム］)］－［FUJI XEROX Administrator Utilities］－［FUJI XEROX BRAdmin Professional Utilities］－［BRConfig］の順にクリックします。

2 プリントサーバーのリストから一致するプリントサーバー名を選択します。
プリントサーバーが接続されましたというメッセージが表示されます。

3 「#」プロンプトにパスワードを入力します。
デフォルトのパスワードは access です。入力したパスワードは表示されません。
Enter username> プロンプトが表示されます。

4 何も入力せずに、<ENTER> キーを押します。
Local> プロンプトが表示されます。

5 次のコマンドを入力します。

SET NETWARE NPRINTER nlm number ON service
SET NETWARE RESCAN
EXIT

- nlm は、ファイルサーバー上の PSERVER NLM でロードされたプリントサーバーの名前です。
- number はプリンタ番号です。この番号は、前の手順の PCONSOLE での設定で選択したプリンタ番号と一致していなければなりません。

例えば、プリントサーバー BRN_310107_P1 が FX1PS という名称の PSERVER NLM を使用しているとします。このプリントサーバーを使用するプリントサーバーに、「プリンタ番号 3」を設定するには、次のコマンドを入力します。

SET NETWARE NPRINTER FX1PS 3
SET NETWARE RESCAN
EXIT

- ウェブブラウザから TCP/IP プロトコルを使用してプリントサーバーに接続し、NetWare プロトコル設定を選択して、リモートプリンタ名を入力することもできます。

NetWare プリントサーバー名によって割り当てられる同一のサービスを、キューサーバモードとリモートプリンタモードの両方で使用することはできません。

ここで、いったん NetWare ファイルサーバーコンソールから PSERVER NLM をアンロードし、設定した内容を反映するために再ロードする必要があります。

その他の情報

IP アドレスの詳しい設定方法については、「第 6 章 プリントサーバー設定」P.6-1を参照してください。

特殊設定編 第 8 章
DLC で印刷する

概要

DLC は、Windows NT® 4.0 および Windows® 2000 に標準でサポートされているプロトコルです。その他の OS（Windows NT®3.x）の場合は、Hewlett-Packard JetDirect カードをサポートするサードパーティ製のソフトウェアの追加によって使うことができます。

●設定の流れ

1. DLC プロトコルをインストールします。P.8-3
2. コンピュータの設定をします。P.8-4

プリンタ設定ページを印刷することができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」ー「コントロールパネルの見かた」ー「ボタン」ー「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

DLC プロトコルにはルーティング機能がないため、印刷ジョブを出力するコンピュータとプリントサーバー間にルータを使用することはできません。

DLC の設定

Windows NT® 4.0、Windows® 2000 で DLC を使用するには、DLC プロトコルをインストールします。

Windows® 2000

1 ［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックし、［ネットワークとダイヤルアップ接続］をダブルクリックします。

2 ［ローカルエリア接続］を選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。
［ローカルエリア接続のプロパティ］が表示されます。

3 ［全般］タブの［インストール］をクリックします。

4 ［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックします。

5 ［DLC プロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。
変更した内容が反映されます。

Windows NT®4.0

1 ［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックします。
［ネットワーク］が表示されます。

2 ［プロトコル］タブをクリックし、［追加］をクリックします。

3 ［プロトコル］を選択し［OK］をクリックします。
インストールに必要なファイルの格納場所の指定が必要な場合もあります。

- Intel ベースのコンピュータの場合は、Windows NT® 4.0 の CD-ROM の i386 ディレクトリに必要なファイルが格納されています。
- Intel ベースのコンピュータでない場合は、Windows NT® 4.0 の CD-ROM の該当するディレクトリを指定します。

［閉じる］をクリックします。

4 コンピュータを再起動します。
変更した内容が反映されます。

コンピュータの設定

Windows® 2000

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、「プリンタドライバがインストールされている場合」P.8-5を参照してください。

1. ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2. ［次へ］をクリックします。

3. ［ローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。

4. ［次へ］をクリックします。

5. ［新しいポートの作成］を選択し、［Hewlett-Packard Network Port］を選択します。

6. ［次へ］をクリックします。
［カードアドレス］の下側のボックスに使用可能なプリントサーバーのイーサネットアドレス（MAC アドレス）が表示されます。表示されていない場合は、［最新の情報に更新］をクリックしてください。

7. 目的のプリントサーバーのイーサネットアドレス（MAC アドレス）を選択します。
選択したプリントサーバーのイーサネットアドレス（MAC アドレス）が、［カードアドレス］の下側のボックスに表示されます。

メモ
- イーサネットアドレス（MAC アドレス）は、プリンタの設定ページに記載されています。
プリンタ設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。
- ［タイマ］をクリックして表示されるダイアログボックスで「連続」を「ジョブごと」に変更しないと、他のコンピュータからは使用できません。

8. 目的のポートの名称を入力し、［OK］をクリックします。

ポートの名称が、LPT1 などの既存のポートまたは DOS デバイスと重複しないように注意してください。

9. ［プリンタポート］画面で［次へ］をクリックします。

10 使用するプリンタドライバを指定します。
［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

11 ［次へ］をクリックします。

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

12 プリンタの名称を入力し、DOS アプリケーションから印刷するかどうかを指定します。

13 ［次へ］をクリックします。

14 このプリンタを共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力して、［次へ］をクリックします。
「プリンタの追加ウィザードを完了しています」画面が表示されます。

メモ

共有した場合は、必要に応じて［場所］と［コメント］を入力して、［次へ］をクリックします。

15 ［完了］をクリックします。

プリンタドライバがインストールされている場合

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをダブルクリックします。
② ［プリンタ］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ 手順 5 ～ 9P.8-4を実行したあとで、［完了］をクリックします。

第6章 プリントサーバー
第7章 Netware
第8章 DLC
第9章 トラブル対応
第10章 付録
索引

Windows NT® 4.0

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、「プリンタドライバがインストールされている場合」P.8-7を参照してください。

1 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 ［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックします。

［ネットワークプリンタサーバー］を選択しないように注意してください。

3 ［ポートの追加］をクリックします。

4 ［利用可能なプリンタポート］のリストから［Hewlett-Packard Network Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。
［カードアドレス］の下側のボックスに使用可能なプリントサーバーのイーサネットアドレス（MAC アドレス）が表示されます。表示されていない場合は、［最新の情報に更新］をクリックしてください。

5 目的のプリントサーバーのイーサネットアドレス（MAC アドレス）を選択します。
選択したプリントサーバーのイーサネットアドレス（MAC アドレス）が、［カードアドレス］の下側のボックスに表示されます。

メモ

- イーサネットアドレス（MAC アドレス）は、プリンタの設定ページに記載されています。
  プリンタ設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。
- ［タイマ］をクリックして表示されるダイアログボックスで「連続」を「ジョブごと」に変更しないと、他のコンピュータからは使用できません。

6 目的のポートの名称を入力し、［OK］をクリックします。

ポートの名称が、LPT1 などの既存のポートまたは DOS デバイスと重複しないように注意してください。

7 ［プリンタポート］画面で［閉じる］をクリックします。
手順 6 で入力した名称が、チェックマークの付いた状態で使用可能ポートのリストに表示されます。

8 ［次へ］をクリックします。

9 使用するプリンタドライバを指定します。
［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

10 ［次へ］をクリックします。

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

11 必要に応じて、［プリンタ名］を変更します。

12 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常使うプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

13 このプリンタを共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力します。印刷に使うコンピュータのオペレーティングシステムを選択し、［次へ］をクリックします。

14 テスト印刷をするかどうかを選択し、［完了］をクリックします。
- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

メモ

プリンタドライバがインストールされている場合
① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをダブルクリックします。
② ［プリンタ］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ 手順 4 ～ 7P.8-6を実行したあとで、［完了］をクリックします。

第6章 プリントサーバー
第7章 Netware
第8章 DLC
第9章 トラブル対応
第10章 付録
索引

他のシステムでの DLC の設定

他のネットワークシステムで DLC を使用するには、通常はサードパーティ製のソフトウェアが必要です。システムへの DLC プロトコルのインストール方法は、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

ネットワークポートを作成します。

「コンピュータの設定」の「Windows NT® 4.0」P.8-6の場合と同様です。

プリントサーバーのイーサネットアドレス（MAC アドレス）は、設定作業中に自動的に表示されます。

通常の OS でのプリンタ設定方法でプリンタを作成します。

プリンタを LPT1 パラレルポートに接続するのではなく、作成したネットワークポートに接続する点だけが異なります。

プリンタの処理が遅い場合は、ジョブがプリントスプーラタイムアウトになる場合があります。

その他の情報

IP アドレスの詳しい設定方法については、「第 6 章 プリントサーバー設定」P.6-1を参照してください。

特殊設定編 第 9 章

トラブルシューティング

概要

プリントサーバーを使用する上で、発生する可能性のある問題とその解決方法について説明しています。

問題の種類を下記の 3 つに分けています。該当する問題のページを参照してください。

- インストールについての問題P.9-3
- プロトコル固有の問題P.9-6
- その他の問題P.9-12

インストールについての問題

ネットワークを通じて印刷することができない場合は、次の項目をチェックします。

1 プリンタの電源がオンで、オンラインであり、印刷できる状態であることを確認します。

プリンタ設定ページを印刷して、ノード名とイーサネットアドレス（MAC アドレス）を調べることができます。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

a. 本体背面の 10BASE/100BASE-TX ポートの近くにあるネットワーク LED が点滅していない場合は、ネットワークファームウェアに異常のある可能性があります。手順 3 を参照してください。

b. この場合は、プリントサーバーを工場出荷時のデフォルトにリセットします。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。
その後で、プリンタの電源を入れ直し、プリンタ設定ページを印刷します。

2 設定情報は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行します。

次のどの手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

a. **TCP/IP を使用している場合**
コンピュータから次のコマンドを実行し、プリントサーバーへの ping を確認します。

Ping ipaddress

ipaddress はプリントサーバーの IP アドレスです。
プリントサーバーに IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

- 応答が正しく返される場合は、「プロトコル固有の問題」P.9-6の各トラブルシューティングへ進みます。
  例） **C:¥>Ping 192.168.1.45**

```
Pinging 192.168.1.45 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.45: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.45: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.45: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.45: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.1.45:
      Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
      Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

第6章 プリントサーバー
第7章 Netware
第8章 DLC
第9章 トラブル対応
第10章 付録
索引

- 応答が返らない場合は、手順3を確認した後で、「TCP/IPのトラブルシューティング」P.9-6へ進みます。

例） **C:¥>Ping 192.168.1.45**

```
Pinging 192.168.1.45 with 32 bytes of data:

Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.1.45:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

b. **Novell システムを使用している場合**
ネットワーク上にプリントサーバーが存在していることを確認します。
①SUPERVISOR（スーパーバイザ権限のあるユーザーではない）または ADMIN（Netware 4 以降のサーバーの場合）としてログインします。
②PCONSOLE または NWADMIN を実行します。
③［PRINT SERVER INFORMATION（プリントサーバー情報）］を選択し、プリントサーバーの名称を選択します。
④このプリントサーバー名が前に入力した名称であることを確認します。

［Print Server Status and Control（プリントサーバーのステータスと制御）］がメニューに表示されている場合は、プリントサーバーがネットワークから認識されています。「Novel NetWare のトラブルシューティング」P.9-9へ進みます。それ以外の場合は手順 3 へ進みます。

c. **AppleTalk を使用している場合**
［セレクタ］の［LaserWriter 8］アイコンの下にプリントサーバー名が表示されていることを確認します。表示されている場合は正しく接続されています。「AppleTalk のトラブルシューティング」P.9-10へ進みます。表示されていない場合は手順 3 へ進みます。

3 手順 2 で接続できなかった場合は、次の項目を確認します。

a. プリンタの電源がオンで、オンラインになっていることを確認します。
b. 接続ケーブルとネットワークとの接続をチェックし、設定ページを印刷します。<Network Statics> セクションに <Bytes Transmitted> でデータがあるかどうかを調べます。
c. LED の表示をチェックします。
プリントサーバーにはプリンタの背面に 2 個のネットワーク LED があります。この LED を使用して、問題の診断を行うことができます。
- 消灯
  2 つの LED とも消灯している場合は、プリントサーバーがネットワークに接続されていないことを示します。
- Link/Speed（オレンジ色 / 緑色）
  オレンジ色：100BASE リンク、緑色：10BASE リンク
- Activity
  データの送受信で点滅

4 リピータまたはハブを使用している場合は、そのリピータまたはハブの SQE（ハートビート）をオフにします。
他のハブを使用している場合やリピータマルチポートの場合は、プリントサーバーを別のポートや他のハブ、またはマルチリピータで試し、元の接続ポートが機能していたかどうかを確認します。

5 プリントサーバーとホストコンピュータとの間にブリッジまたはルータが存在する場合は、ホストからプリントサーバーへのデータの送受信ができるように設定されていることを確認します。
例えば、ブリッジは特定のイーサネットアドレス（MAC アドレス）のデータだけが通過できるように設定されていること（フィルタリング）があります。プリントサーバーの IP アドレスが含まれるように設定してください。
ルータは特定のプロトコルだけを通過させるように設定されていることがあります。プリントサーバーで使用するプロトコルが通過できるように設定されていることを確認してください。

6 プリンタが印刷ジョブを受け取っているのに印刷されない場合は、テキストジョブを PostScript プリンタに出力していないかどうかをチェックします。自動言語切り替え機能のあるプリンタを使用している場合は、プリンタが強制的に PostScript モードに切り替えられていないかどうかを確認します。

プロトコル固有の問題

TCP/IP のトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークのチェックでは問題がないにも関わらず、TCP/IP を使用してプリントサーバーに正しく印刷できない場合は、次の項目をチェックします。

設定エラーによる原因をなくすため、項目をチェックする前に次の手順を行うことをお勧めします。
- プリンタの電源を入れ直す。
- プリントサーバーの設定を削除して作成し直し、新しい印刷キューを作成します。

1 IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認します。
- プリントサーバーに IP アドレスが正しくロードされていることを確認します（設定ページを印刷）。
- ネットワーク上のノードで、この IP アドレスが使用されていないことを確認します。TCP/IP 印刷の問題で最も多い原因は IP アドレスの重複です。

2 IP アドレスの入力に BRCONFIG を使用した場合は、次の項目を確認します。
- <CTRL>+<D> キーを押すか、EXIT コマンドを入力して、正しくリモートコンソールを終了していることを確認します。
- プリンタの電源を入れ直したことを確認します。
  IP アドレスのロードには設定後最大 2 分間程度かかることがあります。

3 TCP/IP プロトコルがプリントサーバーで使用する設定になっていることを確認します。

4 ホストコンピュータとプリントサーバーが、どちらも同じサブネット上に存在することを確認します。
サブネットが異なる場合は、両デバイス間でのデータの送受信が行えるようにルータが設定されていることを確認します。

Windows NT®/LAN Server（TCP/IP）のトラブルシューティング

Windows NT® または LAN Server での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1 Windows NT® または LAN Server ファイルサーバーに、TCP/IP および TCP/IP 印刷サービスがインストールされ、実行されていることを確認します。

2 DHCP などを使用してプリントサーバーの IP アドレスが確定していない場合は、[LPD を提供しているサーバーの名称またはアドレス :] に、プリントサーバーの NetBIOS 名を入力します。

LPR（BLP）での TCP/IP ピアツーピア印刷のトラブルシューティング

Windows® 95/98/Me で、LPR（BLP）での TCP/IP ピアツーピア印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

「LPR（BLP）で印刷する」P.2-15の説明にしたがって、FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアが正しくインストールされ、設定されていることを確認します。

プリンタドライバのプロパティの［ポートの設定］でバイトカウントを有効にします。
FUJI XEROX ピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールするときに、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。<ALT>+<TAB> キーを押すと表示されます。

NetBIOS での TCP/IP ピアツーピア印刷のトラブルシューティング

Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 で、NetBIOS での TCP/IP ピアツーピア印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

「NetBIOS で印刷する」P.2-23の説明にしたがって、FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアが正しくインストールされ、設定されていることを確認します。
FUJI XEROX ピアツーピア印刷（NetBIOS）ソフトウェアをインストールするときに、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。<ALT>+<TAB> キーを押すと表示されます。

2

プリントサーバーが、ネットワーク内のコンピュータと同じワークグループまたはドメインに所属するように設定されていることを確認します。
プリントサーバーが「ネットワークコンピュータ」として表示されるまでに、数分かかることがあります。

第6章 プリントサーバー
第7章 Netware
第8章 DLC
第9章 トラブル対応
第10章 付録
索引

FUJI XEROX インターネット印刷のトラブルシューティング

1 送信側のコンピュータから受信側のプリントサーバーに電子メールを送信できることを確認します。

SMTP サーバーを経由して電子メールを受信できる（TCP/IP）リモートサイトのユーザーに、送信側コンピュータから電子メールを送信します。
正しく実行できなければ、送信側コンピュータ、受信側の POP サーバーに設定されたアカウント情報が一致していないか、送信側の SMTP サーバーの中継が正しく行われていません。送信側コンピュータとネットワークボードに設定したアカウント情報が POP サーバーに設定されているアカウント情報と一致しているかどうかを再チェックします。SMTP サーバーの中継については、サーバー管理者へ確認してください。

2 容量の小さいファイルの印刷は問題なく、容量の大きいファイルの印刷に問題がある場合は、メールシステムを確認します。

メールシステムに原因がある可能性があります。メールシステムによっては、容量の大きいファイルの印刷時に問題の発生するものがあります。ファイルが宛先に届かない場合も、メールシステムに原因があると考えられます。
このような場合は、送信側コンピュータで分割メール機能を使用します。電子メールが分割して処理されるため、ほとんどのメールサーバーで処理することができます。この機能は、プリンタポートのプロパティで設定します。

第6章 プリントサーバー
第7章 Netware
第8章 DLC
第9章 トラブル対応
第10章 付録
索引

Windows® 95/98/Me/2000/XP の IPP のトラブルシューティング

印刷データがファイアウォールを通過できない

IPP 印刷にポート 631 を使用すると、印刷データがファイアウォールを通過できない場合があります。ポート番号を変更するか（ポート 80 など）、ポート 631 を使用できるようにファイアウォールの設定を変更します。
ポート 80（標準 HTTP ポート）を使用するプリンタに、IPP を使用して印刷ジョブを送信する場合、Windows® 2000/XP での設定時に、次のデータを入力します。

http://ip_address/ipp

Windows® 2000/XP での［詳細］オプションが使用できない

http://ip_address:631/ もしくは http://ip_address:631/ipp の URL を使用している場合は、Windows® 2000/XP での［詳細］オプションは使用できません。
［詳細］オプションを使用するには、次の URL を使用してください。

http://ip_address

これはプリントサーバーにポート 80 を割り当てる URL です。
Windows® 2000/XP とプリントサーバーとの通信にポート 80 が使用できます。

Windows® 95/98/Me クライアントが Windows® 2000/XP システムからドライバを取得できない

クライアントコンピュータで、バージョン 4.0 以降の Internet Explorer を使用し、Microsoft インターネット印刷サービスソフトウェアがインストールされていることを確認します。

Novell NetWare のトラブルシューティング

ハードウェアとソフトウェアのチェックに問題がないにも関わらず、NetWare から印刷できない場合は、プリントサーバーがサーバーキューに接続されているかどうかを確認します。
PCONSOLE を実行し、[PRINT QUEUE INFORMATION（印刷キュー情報）] を選択して、[CURRENTLY ATTACHED SERVERS（現在接続しているサーバー）] を選択します。
プリントサーバーが接続先サーバーのリストに表示されていない場合は、次の項目をチェックします。

設定エラーによる原因をなくすため、項目をチェックする前に次の手順を行うことをお勧めします。

- プリンタの電源を入れ直すことで、強制的に Netware キューのスキャンを実行します。
- プリントサーバーの設定を削除して作成し直し、新しい印刷キューを作成します。

1 ログインパスワードを変更した場合は、プリントサーバーとファイルサーバーの両方のパスワードを変更します。

- プリントサーバのパスワードは、BRConfig ソフトウェアの SET NETWARE PASSWORD コマンドを使用するか、ウェブブラウザまたは BRAdmin Professional を使用して変更します。
- ファイルサーバーのパスワードは、PCONSOLE のプリントサーバー情報パスワード変更コマンドを使用して変更します。

2 印刷キューの作成に BRAdmin Professional ではなく PCONSOLE を使用した場合は、少なくとも 1 つのファイルサーバーを SET NETWARE SERVER servername ENABLED コマンドを使用して有効にしていることを確認します。

3 NetWare のユーザー制限を超えていないことをチェックします。

4 PCONSOLE で使用したプリントサーバー名を確認します。

- プリントサーバーに設定されている名称と完全に一致していることを確認します。
- 印刷キューのキューサーバーとして定義されていことを確認します。

5 ネットワーク上の別々のサーバーで、802.3 と Ethernet II フレームの両方を実行している場合は、プリントサーバーと目的のファイルサーバーが接続できないことがあります。

プリントサーバーのリモートコンソールから SET NETWARE FRAME コマンドを使用するか、BRAdmin Professional を使用して、フレームの種類を強制的に 1 つにしてください。

6 DOS CAPTURE ステートメントを使用しているときに、印刷ジョブの一部が失われる場合は、CAPTURE ステートメントの TIMEOUT パラメータの値を増加させます（Windows® の場合は 50 秒以上）。

AppleTalk のトラブルシューティング

ハードウェアとソフトウェアのチェックに問題がないにも関わらず、Macintosh® コンピュータのAppleTalk から印刷を行うことができない場合は、次の項目をチェックします。

Phase 2 AppleTalk が実行されていて、Macintosh® の［ネットワークコントロールパネル］でネットワークインターフェイスが正しく選択されていることを確認します。

AppleTalk プロトコルがプリントサーバーで使用されるように設定されていることを確認します。

- Mac OS® 8.6~9.2

①アップルメニューから［セレクタ］を選択します。
AppleTalk が使用可能になっていることを確認します。
②アップルメニューから［コントロールパネル］をクリックし、［AppleTalk］をダブルクリックします。
［経由先］が［Ethernet］になっていることを確認します。

- Mac OS® X 10.1~10.2

①アップルメニューから［システム環境設定］を選択し、［ネットワーク］をクリックします。
②［AppleTalk］タブをクリックし、［表示］から［内蔵 Ethernet］を選択します。
AppleTalk が使用可能になっていることを確認します。

第6章 プリントサーバー
第7章 Netware
第8章 DLC
第9章 トラブル対応
第10章 付録
索引

3 大規模ネットワークの場合は、Laser Writer V8.xx または互換ドライバがインストールされていることを確認します。
以前のバージョンでは PostScript エラーの原因となることがあります。[セレクタ]の［設定］ボタンで［プリンタ情報］を選択したときに、プリンタ情報が正しく表示されるかどうかを確認します。

4 ［セレクタ］で Printer Description File（PPD）が正しく選択されていることを確認します。
PPD が正しくないと PostScript エラーの原因となります。

5 AppleTalk ゾーンが正しく選択されていることを確認します。
プリントサーバーはルーターのブロードキャストからゾーン情報を取得するため、その情報が目的のゾーンでない場合があります。その場合は、プリントサーバーが［セレクタ］に表示されません。このような場合には、BRAdmin Professional、ウェブブラウザ、または TELNET.BRAdmin の SET APPLETALK ZONE コマンドを使用して、ゾーン名を強制的に割り当てる必要があります。

6 プリントサーバーへの印刷に必要な Laser Prep バージョンが、すべての Macintosh® コンピュータで同一であることを確認します。

DLC/LLC のトラブルシューティング

DLC/LLC での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1 BRAdmin Professional、ウェブブラウザ、または TELNET を使用して、DLC/LLC プロトコルが有効になっていることを確認します。

2 Windows® に設定したイーサネットアドレス（MAC アドレス）が、印刷設定ページのものと一致していることを確認します。

ウェブブラウザのトラブルシューティング

1 ウェブブラウザを使用してプリントサーバーに接続できない場合は、ブラウザのプロキシの設定を確認します。
プロキシを使用しないように設定し、必要に応じてプリントサーバーの IP アドレスを入力します。プリントサーバーの接続時に、毎回コンピュータが ISP やプロキシサーバーへの接続を試行なくなります。

2 使用しているウェブブラウザが適しているか確認します。
Netscape Navigator バージョン 4.0 以降または Microsoft Internet Explorer バージョン 5.0 以降の使用をお勧めします。

その他の問題

まれにプリントサーバーとプリンタに問題が発生する場合は、次の項目をチェックします。

容量の小さいジョブは正しく印刷でき、容量の大きいグラフィックジョブの印刷品質に問題があったり不完全に印刷される場合は、プリンタに搭載されているメモリの容量や、最新のプリンタドライバがコンピュータにインストールされているかどうかを確認します。
弊社のプリンタの最新ドライバは、**http://www.fujixerox.co.jp/** からダウンロードできます。

その他、まれに発生する問題の原因は、各プロトコル別のトラブルシューティング「プロトコル固有の問題」P.9-6を参照してください。

特殊設定編 第10章
付録

一般情報

プリントサーバーの設定を変更するには、次のいずれかの方法を使用します。

- BRAdmin Professional（Windows® 95/98/Me/2000/XP、Windows NT®）
- HTTP（ウェブブラウザを使用）
- TELNET（コマンドユーティリティ）
- BRCONFIG NetWare ユーティリティ（コマンドユーティリティ）

BRAdmin Professional（推奨）
BRAdmin Professional では、TCP/IP または IPX/SPX プロトコルを使用することができます。ネットワークとプリンタの設定をグラフィカルに管理できます。また、プリントサーバーのファームウェアのアップデートにも使用できます。

HTTP（推奨）
使い慣れたウェブブラウザを使用して、プリントサーバーに接続し、プリントサーバーのパラメータを設定することができます。

TELNET
TELNET を使用して、Windows NT® など、ほとんどの TCP/IP システムからプリントサーバーに接続できます。

① システムのコマンドプロンプトで、TELNET ipaddress と入力します。
ipaddress はプリントサーバーの IP アドレスです。
② プリントサーバーに接続されたら、<RETURN> または <ENTER> キーを押します。
③ # プロンプトでパスワードを入力します。
パスワードは画面に表示されません。
④ Enter Username> プロンプトで任意の名前を入力します。
⑤ Local> プロンプトが表示されたら、コマンドを入力することができます。
コマンドプロンプトで HELP と入力すると、サポートされているコマンドのリストが表示されます。

BRCONFIG
BRCONFIG ユーティリティは、BRAdmin Professional と同時にインストールされる DOS 用ユーティリティです。
BRCONFIG NetWare ユーティリティを使用してプリントサーバーに接続できます。

① BRAdmin Professional から BRCONFIG ユーティリティを選択します。
   - プリントサーバーが 1 つしかない場合は、そのサーバーに接続されます。
   - 複数のプリントサーバーが存在する場合は、使用可能なプリントサーバーのリストが表示されます。接続するプリントサーバーの番号を入力します。
② プリントサーバーに接続したら、# プロンプトでパスワードを入力します。
パスワードは画面に表示されません。
③ Enter Username> プロンプトで任意の名前を入力します。
④ Local> プロンプトが表示されたら、コマンドを入力することができます。
コマンドプロンプトで HELP と入力すると、サポートされているコマンドのリストが表示されます。

BRCONFIG を使用するには、IPX プロトコルを実行している Novell Server と、そのサーバーへのアクティブな接続が必要です。

サービスの使用

プリントサーバーへの印刷を行うコンピュータからアクセスすることのできるリソースをサービスと呼びます。
プリントサーバーには、次の定義済みサービスが用意されています。プリントサーバーのリモートコンソールで SHOW SERVICE コマンドを実行すると、使用可能なサービスのリストが表示されます。
コマンドプロンプトで HELP と入力すると、サポートされているコマンドのリストが表示されます。

サービス	説明
BINARY_P1	TCP/IP バイナリサービス、NetBIOS サービス
TEXT_P1	TCP/IP テキストサービス（LF の後に CR を追加）
POSTSCRIPT_P1	PostScript サービス（PJL 互換プリンタなら PostScript モードへ切り換えて印刷する）
PCL_P1	PCL サービス（PJL 互換プリンタなら PCL モードへ切り換えて印刷する）
BRN_xxxxxx_P1_AT	Mac OS® 8.6 以降の AppleTalk および LPD サービス
BRN_xxxxxx_P1	NetWare サービス（TCP/IP バイナリサービスでも使用可能）

xxxxxx はイーサネットアドレス（MAC アドレス）の末尾の 6 桁です（BRN_310107_P1 など）。

通常、Windows® から印刷する場合は「BINARY_P1」、Macintosh® から LPR 印刷する場合は「BRN_xxxxxx_P1_AT」を使用してください。

プリントサーバーのファームウェアのアップデート

概要

プリントサーバーのファームウェアは、フラッシュメモリに格納されています。そのため、適合するアップデートファイルをダウンロードして、ファームウェアのアップデートを行うことができます。最新のファームウェアアップデートを入手する場合は、下記の URL を参照してください。
http://www.fujixerox.co.jp/

用意されているソフトウェアバージョンによっては、新しい機能をプリントサーバに追加するために、プリントサーバーの設定が自動的に工場出荷時の設定にリセットされることがあります。そのため、ファームウェアのアップデートファイルを実行する前にプリンタ設定ページを印刷し、プリントサーバーの現在の設定を必ず記録に残しておいてください。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書の「第 1 章　プリンタをお使いになる前に」－「コントロールパネルの見かた」－「ボタン」－「プリンタ設定ページの印刷」を参照してください。

プリントサーバーのファームウェアをアップデートする方法は、次の 3 種類があります。
- BRAdmin Professional を使用する（推奨）。
- FTP プロトコルを使用する（Macintosh® ネットワークの場合に推奨）。

ファームウェアのアップデート方法

BRAdmin Professional を使用する

BRAdmin Professional を使用すると、プリントサーバーのファームウェアを簡単にアップデートできます。

BRAdmin Professional を起動します。

目的のプリントサーバーを選択します。

［コントロール］メニューの［ファームウェアのロード］を選択します。
複数のプリントサーバーを選択するには、<CTRL> キーまたは <SHIFT> キーを押したまま、必要なプリントサーバーを選択します。

次の 3 種類のうちいずれかの方法で、新しいファームウェアアップデートファイルをプリントサーバーに送ります。
どの方法を選択した場合でも、プリントサーバーのパスワードを入力する必要があります。プリントサーバーのデフォルトのパスワードは access です。

TFTP PUT（ホストから）

コンピュータに TCP/IP がすでに存在する場合は、この方法を使用してください。
BRAdmin Professional は TFTP プロトコルで新しいファームウェアアップデートファイルをプリントサーバーに送ります。

TFTP GET（サーバーから）

ネットワークに TFTP サーバーが存在する場合は、この方法を使用することができます。

- 新しいファームウェアアップデートファイルは、TFTP サーバーの TFTP BOOT ディレクトリに格納されている必要があります。
- プリントサーバーは、コンピュータからの指示により指定された TFTP サーバーからファームウェアアップデートファイルを読み出します。
  ファイルを正しく指定しないとアップデートは失敗します。また、ファームウェアアップデートファイルが、プリントサーバーで読めるように設定されている必要があります。

Netware GET（サーバーから）

ネットワークに IPX/SPX を実行する Netware サーバーが存在し、新しいファームウェアアップデートファイルがサーバーの SYS/Login ディレクトリに格納されている必要があります。
この方法では、コンピュータの指示により、プリントサーバーが指定された Netware サーバーからファームウェアアップデートファイルを読み出します。

ファームウェアアップデート後は、プリントサーバーのアップデートプログラム自動的に再起動します（本体は再起動しません)。
手動で電源を OFF にしないでください。

FTP プロトコルを使用してコマンドプロンプトから実行する

ログオン時にプリントサーバーのパスワードをユーザー名として指定すると、プリントサーバーまたはプリンタのファームウェアをアップデートできます。
access がプリントサーバーのデフォルトのパスワードです。なお、以下の手順で使用しているプリントサーバーの IP アドレス（220.0.250.200）、ファームウェア（brnt261.blf）などは例です。

```
D:¥>ftp
ftp> open 220.0.250.200
Connected to 220.0.250.200.
220 FTP print service:V-1.05/Use the network password for the ID if updating.
User (220.0.250.200:(none)): access（工場出荷の値）
230 User access（工場出荷の値）logged in.
ftp> bin
200 Ready command OK.
ftp> hash
Hash mark printing on ftp: (2048 bytes/hash mark) .
ftp> send brnt261.blf
200 Ready command OK.
150 Transfer Start
################################################################
#########################################################################
#########################################################################
#################################################
226 Data Transfer OK/Entering FirmWareUpdate mode.
ftp: 1498053 bytes sent in 8.52Seconds 175.77Kbytes/sec.
ftp> close
226 Data Transfer OK.
ftp> quit
```

メッセージ「226 Data Transfer OK/Entering FirmWareUpdate mode」が表示された場合は、正しくファームウェアファイルがプリントサーバーに転送されています。
このメッセージが表示されない場合は、プリンタに送られているファイルは無視されるか、プリンタから無意味な印刷出力が行われます。

FTP クライアントを bin コマンドを使用してバイナリ通信モードに切り換えなければなりません。バイナリ通信モードを指定しないと、アップデートが正しく行われません。

ファームウェアアップデート後は、プリントサーバーのアップデートプログラム自動的に再起動します（本体は再起動しません）。
手動で電源を OFF にしないでください。

ファームウェアのアップデート時の注意

ファームウェアアップデータファイルのロード中は、プリンタフロントパネルの Status ランプが点滅します。
プログラムが終了すると自動的にプリンタが再起動します。プリンタの再起動が完了するまで、絶対にプリンタの電源を切らないでください。

約 2 分経過しても Status ランプの点滅が止まらない場合は、入力したパラメータが正しいかどうか、およびネットワーク接続が良好かどうかを確認してください。もう一度プリンタの電源を入れ直し、ダウンロードを実行します。

メモ

ファームウェアのアップデートで問題が発生し、プリンタのネットワーク関連機能が動作していない場合は、パラレルポートを使用してプリントサーバープログラムの再書込みを実行する必要があります。コンピュータとプリンタをパラレルケーブルで接続し、コマンド COPY filename LPT1:/B を実行します。（filename は新しいファームウェアのファイル名です。）

用語集

Apple Talk
米アップルコンピューター社製品の Macintosh® 用ネットワークプロトコル群の総称です。

ARP
Address Resolution Protocol の略です。
TCP/IP プロトコルにおいて、IP アドレスの情報から MAC アドレスを調べて通知するプロトコルです。

BOOTP
BOOTstrap Protocol の略です。
TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンにおいて IP アドレスやホスト名、ドメイン名などのパラメーターをサーバーから自動的にロードしてくるためのプロトコルです。

BRAdmin Professional
BRAdmin Professional は、Windows® 95/98/Me/2000/XP および Windows NT® 4.0 の環境下でネットワークプリンタを管理するソフトウェアです。ネットワークに接続されている弊社のプリンタを設定し、そのステータスを確認することができます。

BRCONFIG
Novell NetWare ネットワークでリモートコンソール機能を使用してプリントサーバーを設定するユーティリティです。

DHCP
Dynamic Host Configuration Protocol
動的ホスト構成プロトコル。ネットワーク上の IP アドレスを動的かつ自動的に割り当て／管理するプロトコル。
BOOTP の拡張版で、DHCP サーバーは DHCP クライアントの要求に応じて IP アドレスを割り当て、サーバーとクライアント間の通信には BOOTP を使用する。
メッセージのフォーマットやプロトコルは、BOOTP とほぼ同じ。

DLC/LLC
もともとはメインフレームコンピュータにおいて、コンピュータシステム（の周辺機器制御装置）と 3270 端末との間のデータリンク層プロトコルとして使用されていたデータ転送のためのプロトコルです。最近ではプリンタとコンピュータ間でのデータ転送プロトコルとしても使われています。

DNS
Domain Name System の略です。
TCP/IP ネットワークで使用されるネームサービスです。クライアントは DNS サーバー内のホスト名と IP アドレスの対応関係を記述したデータベースを参照することで、ホストの名前を指定してネットワークにアクセスできるようになります。

FTP
File Transfer Protocol の略です。
ファイル転送プロトコルで、TCP/IP プロトコルの一つです。ネットワークにログインし、ファイルの表示や転送を行う目的で使用されます。

IPP プロトコル
Internet Printing Protocol の略です。
インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて印刷データの送受信や印刷機器の制御を行うプロトコルです。特徴として、ウェブブラウザなどが使う HTTP プロトコルを用いてネットワーク上のプリンタに印刷を支持でいるようになっています。インターネットを通じて遠隔地のプリンタにデータを送って印刷することもできます。

IPX/SPX
Novell 社の NetWare 用プロトコルです。
OSI モデルのネットワーク層で機能する IPX と、トランスポート層で機能する SPX から構成されています。

IP アドレス
IP プロトコルで使用するための 32bit（IPv4）のアドレスで、ネットワーク自体やネットワーク上のノードを特定する論理番号のことです。

LAN Server
Local Area Network Server の略です。
LAN 上でプリンタ、ファイルなどの資源を共有するためのサーバーです。

LPR ポート
lpr は、プリント・キューに存在するプリント・ジョブを、printcap ファイルで指定されたプリンタに印刷する要求を行うためのポートです。

Microsoft Internet Print Services
IPP プロトコルを使用して、Windows ® 2000/XP コンピュータを通じて印刷ジョブをプリンタに送るときに使用します。

NDPS
Network Distributed Print System の略です。米ノベルの NetWare が提供する分散プリント機能です。

NetBIOS
Sytek 社が開発したアプリケーション・プログラム・インターフェース（API）で、LAN 上のコンピュータが同じ LAN 上の他のコンピュータと対話する必要がある前提で設計されたインターフェースです。IBM Server、Microsoft Manager、および OS/2 環境向けの LAN アプリケーションを作成するときにプログラマが使用します。

NetWare
Novell 社が開発したネットワーク OS で、プロトコルは IPX/SPX を使用します。様々な OS のマシンをクライアントにできる他、拡張性や管理機能に優れています。

POP3
Post Office Prorocol の略です。
クライアント端末がメールサーバーから電子メールを取得するためのプロトコルです。

PostScript
米 Adobe 社によって開発された、特に高解像度が必要とされる印刷処理で一般に利用される代表的なページ記述言語の 1 つです。

RARP
ARP プロトコルとは逆に、自ノードの MAC アドレスから「自分の」IP アドレスを求めるためのプロトコルです。

SMTP プロトコル
Send Mail Transfer Protocol の略です。
電子メール送信のためのプロトコルです。
SMTP は簡単なコマンドをやり取りすることによって電子メールを別の電子メールサーバーへと送信しまする。

TCP/IP
Transmission Control Protocol/Internet Protocol（伝送制御プロトコル / インターネットプロトコル）の略です。
インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト（アプリケーション）を特定して通信路を確立するプロトコル（TCP）と、通信経路に関するプロトコル（IP）から構成されています。OSI 参照モデルでは、TCP はレイヤー 4、IP はレイヤー 3 に対応しています。

TELNET
自端末からリモートシステム端末へのアクセス機能、ネットワーク内での仮想端末の機能を提供する TCP 上のプロトコルで、リモート Telnet コネクションという文字単位の通信経路を設定する。通常ログイン時のパスワード認証以外に特別なセキュリティ機能は持たない。

イーサネットアドレス (MAC アドレス)
イーサネット機器が持つ 6 バイトのアドレスです。ISO/OSI モデルの物理層およびデータリンク層で機能します。イーサネットアドレス（MAC アドレス）は機器内部に記憶されているので、ユーザーが変更することはできません。

サブネットマスク
IP アドレスからサブネットのネットワークアドレスを求める場合に使用するマスク値のことです。IP アドレスとサブネットマスクを AND すると、サブネットアドレスになります。

ルータ
ネットワーク間（LAN と LAN、LAN と WAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。

索　引

さ

し

て

と

は

ふ

ま

め

り

わ

商品のお問い合わせ先について

● この商品の**保守**、**操作**、**修理**のお問い合わせ、**消耗品**のご購入について、
および本機を廃却する場合は、
商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、
または商品センターにお問い合わせください。

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンティングシステムズプリンターサポート
デスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエア
メーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX：03-3342-1552

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く9時～12時、13時～17時30分、東京でお受けします。

ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご使用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面
のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint 187A ネットワーク設定説明書

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

発行年月―2003 年 11 月 第 1 版
（帳票 No: ME3220J1-1）